

道 徒 の 聖

第一九五八年三月十七日第三種郵便物認可（毎月一回）口発行
第六卷 第二号 一九六二年二月一日発行



末日聖徒イエス・キリスト教会

聖徒の道二月号 目次

予言者のことば

生活が性格を顔に刻む

伝道部長メッセーじ

主の御教えを実行して隣人愛に徹しましょう

ポール・C・アンドラス

支部だより

大会報告 西中央地方部

エンサインローレル教科課程

神の国でまた逢いましょう

この家も私たちのものです

英会話テキスト

第一長老定員会 神権者活動の計画

練習の讃美歌

子供日曜学校ガイド 三月用

物語 新しい土地での新しい友達

日曜学校ガイド 三月用

MI Aリーダー

末日聖徒イエス・キリスト教会歴史

メルケゼデク神権

教師と生徒用「モルモン経の読み方の手引き」

アロン神権者用学科課程

クイズルーム

67

70

72

78

82

86

90

94

95

95

95

96

98

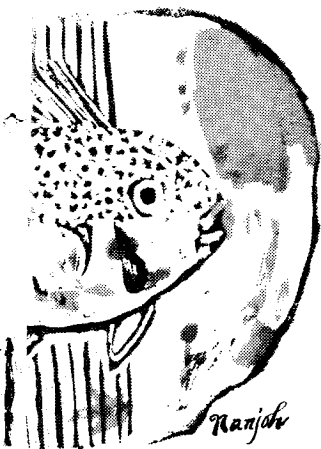
102

106

110

118

127





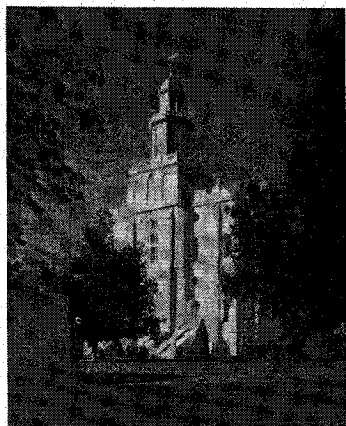
神殿をたずねて（2）

セント・ジョージ神殿

先月号のソルトレーク神殿と同じくユタ州にあり、州の南西部ロッキー山脈中の一盆地に位置し、その門をくぐる人々に砂岩で礎かれた白く輝く壁でやさしく祝福している。

一八七一年十一月九日に起工。

一八七七年四月六日、ダニエル・H・ウェルズによって献堂された。





予言者のことば

生活が性格を顔に刻む

大管長 デビド・O・マッケイ

時々刻々、私たちの考えていることが、私たちの性格をつくっている。全く、私たちの考えていることは私たちの容貌を変えてさえている。何となれば、私たちの容貌は私たちがどんな人間であるかを大いに語っているからである。

このことがナタナエル・ホーソンの筆になる「大きな石の顔」という美しい物語りの中にあるが、あなた方はこれをお読みになったことがあると思う。

もしお読みになったなら、あなた方は、一つの谷をとり巻いている或る山の上に、一人のおだやかな男の顔が天然自然に刻み出されていたという話を思い出すにちがいない。その男の顔は偉大さはもちろんのこと、親切と慈悲と愛とに輝やいているように見えた。

ホーソンはその物語りの中で、気高い考えと理想とが、自分のためでなくて他人のために奉仕をすることを愛した一人の青年の顔かたちを、毎日、毎週、毎月変えて行ったという偉大な教訓を語っている。

アメリカにも大きな石の顔がある。サウス・ダコタにあるラッシュモア山の岩壁に、ゲッツォン・ボーグラムという彫刻家が千九百二十七年から千九百四十一年までかかって四つの大きな顔を彫刻した。石に刻んだこれらの顔は、長年にわたってアメリカを偉大にする

助力をした四人のアメリカ大統領、すなわちワシントン、ジェファソン、リンカーンおよびセオドア・ルーズヴェルトの顔である。

私たちは毎年二月にワシントンとリンカーンの偉大な貢献をとくに思い出すのが常である。

私たちは回復されたまことの教会の会員として、一人一人の人の心がその人の「行く先き」を定めるといふ永遠の法則があることを知っている。誰でも、他の人のために幸福もしくは救いを得てやることはできない。「神でさえ、人間を自由に働かさなかつたら自らの如くにすることはできないであろう」。

アブラハム・リンカーンは、かつて「神がわれらの内に植えたもうた自由を愛する心こそ、われらの自由と独立のとりである。われらのとりでは銃眼のある胸壁や、荒浪のさかまく海岸や、陸海軍ではない。われらのとりでは、世界万国に於けるあらゆる人類が受けつぐべきものとしての自由を尊ぶ精神である。この精神を破壊せんか、それは足下に専制政治の種子を蒔いたのである」と言った。

神と聖い事物を敬まわない人は真に偉大であるとは言えない。神を敬まう心こそアブラハム・リンカーンを偉大にした徳の一つであった。リンカーンがこの美德の主であったことは、彼が大統領になるために故郷の町を離れたときの出来事がよく証明している。リンカーンはその時イリノイ州スプリングフィールドに居た。そして生涯のうちの長い年月を暮したその小さな町を去るために、今や汽車に乗ろうとしたとき、見送りに来ていた町の人々の方を向いて、しばらくの間声も出せずに立っていたが、万感胸に迫るのをようやく抑えふるえる声で言った。

「皆さん、この別れに際する悲しみの情をよく知る者は今の私をおいて一人もありませ

ん。私の今日あるのは全くこの町とこの町の皆さまのご親切のおかげであります。私はこの町に二十五年の間暮らせていただき、その間青年の私は今や老成した一人の男となりました。私は今や、ワシントンの荷った責任よりも更に大きな責任を肩にしようとしてここを去りますが、何時どこへまた帰って来るかは私にも解りません。いつも彼に伴ないたもうた神の助けなくして、私は成功することができません。しかしながら、神の助けによって私は必らず成功いたします。私と共に行きあなた方と共に留まりたい、あまねく永遠に存在したもう神を信頼して、これからすべて良くなるにちがいないと共に心から望みたいと思います。みなさまのお祈りのうちに私のこともお加え下さるよう望みつつ、みなさまの上に神の加護のあらんことを祈って、尽きぬ別れの言葉といたします」。

私たちは神に近づいて光と導きとを受けることができる、また私たちの心が照らされ「神のみたま」によって身も心も大きな喜びに満たされるということは空想ではない。ワシントンはそれを求めた、リンカーンはそれを受けた、ジョセフ・スミスはそれを知っていた。予言者ジョセフ・スミスが確かに靈感を受けたという証詞は、人々が見るために目を開け理解するために心を開けさえすれば、誰れも明らかに了解される。

生活を指導する気高い考えは黄金よりも価値がある。自分だけのことを考えて生きるのは動物にひとしい。他人のことを思い他人を幸福にするとき、その生活はキリストの生活に近づくのである。

神と聖い事物を敬まう心こそ、偉大な人の主たる特性である。小人は成功することもある、しかし神を敬まう念がなかったら、決して偉大な人物にはなれない。



主の御教えを実行して 隣人愛に徹しましょう

ポール・C・アンドラス

あなたは物を氣にし易い質ですか。

あなたは今までに人から感情を傷つけられたことがありますか。

あなたはこれまでに誰かと意見が合わなかったことがありますか。

か。あなたは誰かと議論口論またはけんかをしましたことがありますか。

あなたは教会の或会員がしている或事に不満を持っていますか。

あなたは教会の或役員たちが物事を行っているやり方に賛成をしていませんか。人に対して悪い感情を抱いてはいませんか。

私たちは人間でありますから、私たちの全部でなくとも、大部分の者は今挙げた質問の皆でなくとも大部分に対して全く正直にそうだと答えるにちがいありません。

それにもかかわらず、主は私共に隣人を愛しまた互いに愛せよと仰せになりました。また主は私共に相一致せよと仰せになりました。また主はもし私共が互いに愛せずまた相一致しないならば、私共は主の弟子になることもできないし、また隣人たちも私共が主の弟子であることを知らないにちがいなくとまで仰せになりました。

(ヨハネ伝十三〇三十四・三十五、教義と聖約三十八・二十九)。
しかし、私共の教会は神の真の教会であると主張して居ります。また教会の会員として私共は主イエス・キリストに従う者たちであると主張して居りますから、私共は人間の弱さであるからと言って私共の表わす愛と一致の欠けたことと、先に述べた愛と一致の教えとを両立させることがどうしてできましょうか。主は自らこの問題に対する解答を「教義と聖約」第四十二章、八十八節から九十二節までの中ではっきりとお示しになりました。主はその八十八節でもし誰でも私共を害するならばひそかにその人の所へ行って和解を求めるべきであると教えておいでになります。そうした後で和解を得るこ

とができない時には、私共はその事を支部又はワード部の管理長老、言葉を変えて言うところと支部長又は監督の注意を引くようにせよと教えられています。主の御教えは宜しい。困ったことは、主の御教えに従う教会員の数あまりに少いことであります。あまりに多くの教会員は全く直接の関係がない他の会員に対して不平を抱いて居ります。そうすることによってこの人たちはどのみち問題を改善することなしに事態を一層悪化させるだけの不当な非難と蔭口とをかき立てています。主が私共に下さった御教えは、もし誰かがあなたを害するならば、すなわちもしあなたが誰かに反対しているなら、その人の所へ行つて二人きりで懇談せよ、というのであります。もしも全教会員が主の下さったこの御教えに従うならば、すべての教会員の間に愛と一致があるでございましょう。人間は弱い者であるから会員たちの間に誤解と不一致とが自然に起るにちがいないことを主は認めておいでになりますから、このような誤解と不一致とが起るや否やすぐにこれらをすべて解決する方法をお示しになって居ります。当時者の所へ行つて兄弟愛の精神で事を話し合うという簡単な手段は常に奇跡を行つています。感情を害したりまたは誤解をしたりする場合に、その問題は通常その場で解決されています。意見の不一致がある時には、あなたと意見の合わない人、特にその人が教会の役員ならその人のところへ行つて自分の思うことを述べるのはあなたの義務であります。「自分の思うことを述べよ、それから協力をせよ」とは教会の一人一人にとって良い法式であります。実際、教会の会員一人一人は皆相談役でありますから教会の上の人々に助言をする義務があります。例えて言えば、もしもあなたがこれは役に立つかも知れぬと言う考えを持つて居るなら、または或教会役員の物事を行っているやり方が気に入らないなら、あなたはその教会役員のところへひそかに行つて、率直にしかしながら愛の精神

を以て思うところを言い表わすべきであります。しかし、あなたはまたその教会役員があなたの提案通りに決めないかも知れぬということ認識してはなりません。またその場合にあなたは、その役員の決定を全く支持する心がまえてなくてはなりません。各役員はその職務に関する義務を遂行するに当り啓示と導きとを受ける権利を所有して居ります。それで、あなたの提案と考えとをよく聞いてから、彼はそれらを注意深く折りの心持ちでよく考えなくてはなりません。そして彼がこうすると決めた時には、もちろんその決定が教会の教えやこれまでに定まっている教会の方針に反しないなら、その決定があなたの提案と正反対であろうともその決定を遂行するに当つて彼を固く支持するのがあなたの義務であります。そうすることによって、意見の相違があるにもかかわらず一致することができるのであります。どんな理由があるにもかかわらず一致することができ、または教会員にせよ非教会員にせよ、どの人に対してでも悪感情を抱いている本伝道部の教会員の一人一人に向つて、私は今こそ主の御教えを実行すべき時であることを提案いたします。事態を良くするために何らの行動もとらないことは、その問題に直接関係のない人々とその事を論じ合うのとほとんど同じ位悪いことであります。怨みを抱いたり悪感情を持つていたりすることは、他の誰よりもこのような心持ちを持つて居る人に確かに多くの害を与えます。私共の間に意見の相違がないようなふりをするのを止めて、主がなさいます通り私たちの間には意見の相違があることを認めましょう。また私共はすべての誤解と不一致と悪感情とを除くために主がおきめになった行動をとるようにいたしましょう。また私共の隣人が私共を本当の主の弟子たちであると認め、またこの教会を本当の神の教会であると認めるように互いに愛し互いに一致しようではありませんか。

支部だより

名古屋支部

○今月バプテスマを受けられた方は次の通りです。

十二月十七日 伊藤富子 水野勝子

池田茂美

十二月二十四日 長尾 充

十二月三十日 萩原靖子

(大山 木曾川上流にて)

○日曜学校役員の変更(十二月三日)

解任 第一副会長 土田勝兄弟

第二副会長 安藤修兄弟

任命 第一副会長 安藤修兄弟

第二副会長 渡辺弘兄弟

○名古屋支部へ専任宣教師として二人の長老

が着任しました。

ジョージ ヒロシ ソノダ長老

「小樽支部より(十二月九日)」

アルフレッド・K・カハナヌイ長老

「甲府支部より(十二月十一日)」

(現在名古屋支部においては八人の専任宣教師が神様の御国発展の為に働いています。)

○十二月二十四日 上田嘉子姉妹と遠山久子姉妹が鈴木地方部長の按手礼によって地方部宣教師に任命されました。これで名古屋支部は十人の宣教師によって伝道されることになったわけです。

○十二月二十三日 鈴木正三西地方部長は一九六二年度の西中央地方部大会および支部運営の方針の指示、地方部宣教師任命等のため名古屋支部を訪問され翌二十四日夜離名された。

○十二月二十一日 M I A クリスマスパーティー。

柳田征史兄弟司会により古芝健三兄弟のクリスマスについてのすばらしい話を聞きイエス・キリストの降誕されたあのすばらしい情景を頭に描きイエス・キリストの使命

を考えながらゲーム・長老たちの美しいコーラス、プレゼントの交換、ダンスにとしばし時を忘れ楽しく過しました。

この会を通してクリスマスの本当の意義を知らない人々に少しでも分っていただけたらと祈りながら会を閉じた。(以上土田兄弟)

○長い間のたくさんの子供たちの可愛い望みと先生方の祈りの中で子供日曜学校クリスマスパーティーが開かれました。

二十四日午後三時から七十名程の愛する子供たちが集まって紙芝居「イエス・キリストの一生」を静かに学び先生方のお骨折りで「おむすび」「おでん」で楽しい時を過しました。

イエス様の精神がどうかこの会を通して子供たちの小さな心に少しでも宿ってくれるように心からお祈りしながら四時半に閉会いたしました。(土田姉妹記)

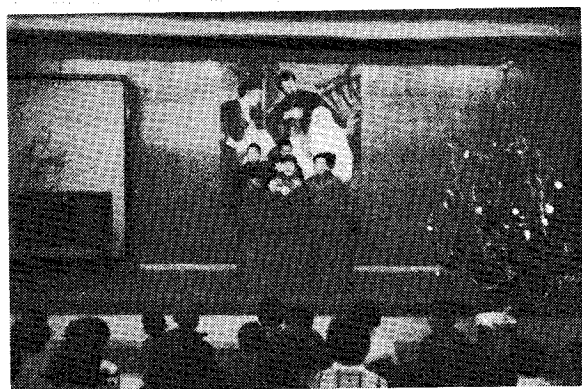
金沢支部

○バプテスマ

金沢支部では十一月二十五日(土)の夕方犀川上流でバプテスマが行なわれ二人姉妹が誕生しました。長い間この日を待っていた藤江亜子姉妹と高波紀子姉妹で二人共野田姉妹



金沢支部のクリスマス



金沢支部のクリスマス

の親友です。この日は風が強く雨が降り雪もちらつくという寒い日で川の流れは速く水は見る人の心までも寒くさせるなど、非常な悪条件が重なりましたが神様の御恵みにより無事式を終える事が出来ました。二人の姉妹は無論の事参加した全ての宣教師、会員たちは強い感動と聖い喜びを受け実にサタンは何も防害することは出来ませんでした。また翌

日の二十六日の安息日に高野和子姉妹が生まれ、一週間後の十二月三日には伊藤明男、森野嘉一、小原久男兄弟がそれぞれバプテスマを受け神様の門をたたくことが出来ました。

○神権の昇進

教師 北川康雄、高木昭の二人

○十一月十七日北野兄弟姉妹の第二子誕生

北野真実

十二月三十一日は北国特有の雪の散る寒い夜でしたが金沢支部のクリスマスパーティーは暖かい人息となごやかで包まれて居りました。子供たち五十名を含む一二〇名が出席した盛大な合同パーティーで六時〜七時半の子供の部ではこの日を待ちに待っていた良い子を迎えお友達のダンスや合唱、手品がありサンタクロースから御菓子の贈物をもらって楽しく救主の御誕生を祝いました。やがて子供たちが大人になるときとこの楽しいクリスマスをなつかしく思い出すことでしょう。引き続き大人の部では姉妹たちの作った食事を出しながら聖書劇「美しき川のほとり」やギター演奏等を鑑賞しました。面白かったのは新聞紙、色紙、セロテープによって五分間でカクテルドレスを創作するゲームで写真のようにインスタントのドレスが出来上り皆で大笑いしました。プレゼントの交換や時間の許す限りダンスをして心からなるクリスマスを持つことが出来、心より感謝しています。

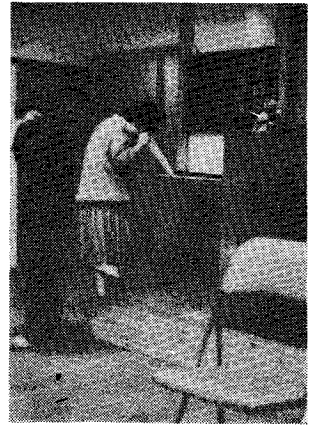
岡町支部

岡町支部扶助協会のこの頃
六月から九月迄の夏休み中は、バザーの為のお仕事をしておりましたが、十月からの

支 部 だ よ り

新年度を迎え、心を新たにしてお張り切っております。集会は水曜日の午前中に開いておりますので、未婚の方は一人で其他は家庭の主婦ばかりでございます。十二月一日のバザーを前にして刺繍入りのエプロン、ブラッシングカバー、枕かけ、ネグリジエ等、皆すんで私はこれを受け持ちましようと思つて仕上げて下さいます。渡辺八重子姉妹は一寸のお嬢さんを乳母車に三才の坊ちゃんの手を引いて三十分の道のりを、中川美和子姉妹は一寸の坊ちゃんを連れて大阪市内からバスや電車に乗っていらつしやいますし、阪本幾代姉妹は小さいお孫さんの手を引いてやはり三十分ばかりの道のりをとぼと歩いて出席なさる様子にはいつも涙ぐましい程の感激をおぼえます。現在出席出来る顔ぶれは十一名ですが証会時には全員が証をのべ、月一回の証会が扶助協会の楽しみの一つになっております。本当に肉親の姉や妹の様に仲よく和やかな気分と共に学び、共に働らく事が出来ましていつも神様に感謝しております。この会が月に年に発展し、ジョセフ・スミスがこの会を設立なさった主旨にもつとめとそう事が出来まして神様に喜ばれる会になります様に祈りしております。

扶助協会会長 秋元富佐



岡町支部のゲーム

今月のバプテスマ

波多野武 田淵章二 栗栖浩二郎 木村喬

水江三男 広瀬信二 田村聡子 計七名

今月の神権昇進者

講崎元清(祭司) 杉村裕一(祭司) 阿

部初夫(教師) 牧瀬十二郎(教師) 石

崎浩一(執事)

十一月三日(文化の日)

晴天には恵まれませんでしたが教会に於て親睦会が開かれダンスにゲームに楽しい一時を過しました。

宣教師の移動

フランスイス・L・テレビ長老……東京西

支部へ(後任はブルース・L・キャンベル

長老……東京西支部から)

A・マルピン・パルマー長老……西宮支部へ(後任はモリス・R・ステレット長老……オレゴン州から)

新年おめでとうございます。新年を迎え各補助組織の会長さんに一筆お願い致しました。

M・I・A

明けましておめでとうございます。全国の兄弟姉妹はこの新年を如何お迎えですか、今年もMIAが神に祝福されて価値ある年であります様に願っています。

岡町支部の役員も年度が新しく変わって発足しましたので今迄は全ての面に於て周到さと円滑さに充分でなかったのが今年是非とも全ての集會にこれらのことを良く注意しうばらしい会にしようと思つて張切っています。

では皆様のMIAがいよいよ神様の祝福を受けて大きく発展することを祈って、さよなら。 Y M I A 会長 坂本奏造

日曜学校

岡町支部は新しい年度に入ると大人のクラスを二つに分けます。すなわち、古参の会員と新しく教会に來た人たちです。でもどこの支部にも共通の悩み通り部屋がたりません。ですから一番下のクラスと中のクラスを合併してしまつております。また、日曜学校主催

の会を大いに開いて聖典についての研究またはディスカッションと会員の協力を得て大いにやっていく決心を役員一同して居ります。もうすぐ出席人数は平均百人以上になるでしょう。役員は全部若い者ですがその欠点を長所にして大いに活発に神の御国のために働いていくつもりです。

日曜学校会長 講崎元清

札幌支部

「聖徒の道」をこのように活用

「聖徒の道」が私たちの教会の機関誌であるという事は誰でも知っているが、その内容がどれ程価値のあるものであるか、またどれ程福音を学ぶために良き指導となっているかという事は、あまりはっきり知られていないのが実情です。

それは「聖徒の道」発行の意義と目的を理解されていないのもその一つです。

私たちは力を合せてその意義を納得し、このすばらしい機関誌の発展を真剣に処理しなければなりません。

わが札幌支部の「聖徒の道委員会」ではいつも「聖徒の道」の価格とか、割りあて部数にとまなう販売、月遅れの部数の活用方法等

の問題に大きく関心をはらっています。

この「聖徒の道」に毎月載せられる「予言者のことば」や「伝道部長メッセージ」をはじめ、教会幹部たちの執筆するもの及び会員たちの「証詞」等をしみじみ読むと、誰の心にも明るい灯火がほの見える心地のするという点が感覚され、早速、塵と共に積み重なっている今年の「聖徒の道」を一冊につづり、これによって暗い生活を送っている人々の心に灯火をともしせる事が出来たならばと、十二月二十三日私たちはバスに揺られて、高さ十メートル程の豪華に出来た塀の中で青い衣と共に生活を営んでいる刑場の人々へ、足を運び、また少年鑑別所、療養所等五つの施設へ寄贈しました。

このささやかな「聖徒の道」の活用をこれから大いにつづって贈り、彼らが暗い生活から明るい生活へ希望を抱いて、神の正しい生活に移り変って行くよう祈っています。

各支部の「聖徒の道」の効果的活用方法を紹介して下さい。

中野正之兄弟

仙台支部

一九六二年の初春を迎え皆様如何お過ごしいらっしゃるでしょうか。

十月より十二月までのバプテスマは次の通りです。

十月

梅木ときる 高坂文子

十一月 佐々木洋造 関沼純子

十二月 平沢洋治 工藤俊治 高坂光子

日野澄子 大村恵美子 内山早苗

神権昇進

十月 教師 中田力 新田紀夫

祭司 小林幸司

○十一月二十三日勤労感謝の日 市内の八木山方面へピクニックの予定でしたが前日雪が降ったために道路が悪かったので予定を変更して教会堂に於て映画とスポーツを楽しみました。

○十二月の声を聞くと街にはジングルベルのメロディーが流れクリスマス気分をおおっていました。が十二月二十三日（土曜日）ジョセフ・スミスが此世に生を受けた日にMIA主催によるクリスマスパーティーが開かれました。ホールの中には大きなクリスマスツリーが飾られ、窓にはすばらしき才能を持った人々によって書かれた絵にまたきれいに飾られた中であって「聖しこの夜」の讃美歌に始まりイエスの誕生に就いてクリスマスに思う事と言うテーマで姉妹と兄弟の話を聞き、またろうそくを片手に持つて唄うMIA合唱団の

台唱、物語オーヘンリー作の「賢者の贈物」全員でのクリスマスの歌の台唱、宣教師八名の合唱等プレゼント交換に於ては巡回宣教師の山田長老の身振り手振り面白いサンタクロースに和やかな雰囲気の中に楽しく一時を過しました。そしてイエスの降誕の意義を改めて良く理解することが出来ました。出席者は四十六名。

○十二月二十六日には、しばらく支部予算活動をしておりませんでしたので支部予算を得る為に仙台駅前、日乃出会館七階ホールに於て「不思議の国のダンスパーティー」と銘うってダンスパーティーを開きました。

日時も迫っていましたのでどうなるかと心配したのですけれども、会員たちや宣教師たちの努力によって赤字にならず黒字にする事ができました。まだすっかり清算していませんのではっきりした数字は分りません。でも一応成功した分です。ホールの雰囲気もとても良く集った若い人々は楽しく踊っていました。

○十二月二十四日は日曜日でしたが夜六時よりキャロルが行われ市内の病院四ヶ所を訪問しました。参加者三十名。

以上で報告を終わります。皆様の上に主の恵

みが豊かに注がれます様に、また御健康を祈りつつ。

東京中央支部

新しい年を迎えて、東京中央支部では二組のモルモン新家庭の誕生があり、明るいニュースで包まれています。昨年の十二月に故郷で式を挙げられた橋之口兄弟と、十五日に松本で結ばれた遠藤兄弟です。(遠藤姉妹は松本の旧姓川上姉妹、一月二十八日 の聖餐会でアタタカイお話を聞かされ会員一同思わず顔をほころばせた次第……)。皆心から祝福しての祝賀会では上げられたり下げられたり寒いのに真赤になって冷汗をかいていた様でした。……

◆ — ◆ — ◆
MIAの会長に奥山兄弟が昇任し、書記は若林一兄弟となり、二十五日のクワレットの集いから活躍を開始、その夜は長老達の珍芸も混えて、半人前、二人前で四重唱の計算が合う組もあって楽しい夜を過しました。地方部初のスケート大会の広告が入口に掲げて支部は明るい気持ちで寒中頑ばってます。

◆ — ◆ — ◆
一月二十八日に日曜学校の会長に萩本兄弟

が就任し群馬流の大活躍が期待されています。現副会長の山島兄弟が盲腸で入院、会長さんが変わる間の事務を青木兄弟と笹木姉妹で一切行った疲れによるものか、それにしても二月末迄のプログラムの印刷迄出来上げて入院した彼の態度に会員一同心から感謝して全快を祈る次第。

東京西支部

○クリスマス・パーティー
十二月二十一日、MIAを兼ねてクリスマス・パーティーを開催した。当日は、百名近くの人々が押しかけ、百円のパーティー券が飛ぶような売れゆき。

まず、ミスターモルモンこと六二年の男、福田支部長が、ただでさえ大きな声をはりあげて曰く「マッチ売りの少女に、ある男がそのマッチ、ハウマッチかとたずねました云々……」つづいて、福島幸代、藤岡和子両姉妹による合作で、二度と見る事が出来まいと云われる傑作「キリスト誕生」の絵をバックにして、われらがザ・ファニー・フェース、花淵洋子、菅野美枝子両姉妹の、盲腸が欠伸をおもわずかみ殺すような、二人の息があつたすばらしいデュエットがあり、その後数々

支 部 だ よ り

の企画が進み、盲腸が静かにねむりにつこうとする時、突然、電気が消え、全員が肺臓への酸素の供給を忘れたその時、あたりの静寂を破って聞えて来たゴリラのおたけび?……一瞬、電気がつくと我々の目の前に現れたのはゴリラの怪物ならぬ、ビッグ・スミス長老扮するところのサンタクロースなり。

○美化委員誕生

時価四億円はくだるまいと云われる西支部に、美化委員が誕生した。

ここに委員会の兄弟姉妹の横顔を紹介する。

島田邦男兄弟、顔の感じは、かなり柔らかそうだが、芯はいたって堅く、一度決定したことは最後までやり、義理と人情にあつく、

清潔で誠実でどこかの国の皇太子みたいな人就任の挨拶に曰く「掃除のことは、この島田におまかせください」。其会員曰く「どこかの国の首相みたいな事を云うやつだ」。

滝田芳姉妹、容姿端麗・才色兼備明眸皓齒その上清楚で責任感が強く、掃除好き。西支部の興廃は、ひとえに滝田姉妹の小さな体にかかっている。御期待を乞う。

川野正彦兄弟、芸術家、スポーツマン。スポーツは水泳が十八番。それも昔瀬戸内海の

海賊が使用した真伝流の達人。将来は大学を出てインテリ海賊になり、一財産をつくらうと云う、頼もしい男性。掃除にあまり関係がなくて、もうしわけない。

○次の方々が神権の授与と昇進をされました
神権 米村武敏 清瀬秀雄兄弟がアロン神権の執事。

鄭豊雄兄弟がアロン神権の祭司。

○今月のバプテスマ

大益美千代 福島幸代 竹尾満智子 藤岡和子 向井良子 向井幸子 橋本紀子 山田晶代 目々沢マサ子 弓町詔子 田井国夫 斎藤昭夫 内田毅 浜田尚身 森達雄 辻尾みさを

旭 川 支 部

各支部の皆様、いかがお暮しですか。日本最北のモルモン地、旭川は今深い白雪に包まれています。神の深い愛のもとに各月毎週のように多くの人々が、バプテスマを受けました。なかでも最後の安息日(31日)には、当支部創設以来と思われる、十人の兄弟姉妹が誕生しました。このため日曜学校は少し遅

れて開会しなければならぬ程でした。またこの日、四人の非専任宣教師も誕生し、支部



東京西支部のクリスマスの絵

の会員たちは彼らの働きに期待をかけると共に、自らの責任を再び強く認識して支部発展のために、おしむことなく努力を続けています。今月の当支部の発展は六一年の支部の発展の様子を簡単に語り、また新しい年に対する約束でもあります。

西中央地方部大会

☆
大 阪 地 区 大 会
福 岡 地 区 大 会
☆

大 会 報 告



三宮支部 港音頭

西中央地方部大会

今期の西中央地方部大会は、福岡と阪神の二地区に分かれ、共に昨年十一月十八、十九日に開催された。

今大会で地方部長として清水勝長老に代り、鈴木正三兄弟が召され、両地区共全員の支持があつて、二十日伝道部長によって按手任命された。

当地方部は地域が広く、地方部長会の仕事も大変なことと思われるが、新地方部長の下に、充実した組織が生れるのも遠くないことであろう。

大阪地区大会

清水勝長老管理の下に、MIAは神戸市灘区役所、他集会は十九日大阪市商工会館で開かれた。

十八日は朝からの雨も夕刻には上り、暖くMIAに絶好、又十九日は晴天となつて、気持のよい大会日和であつた。

参加者は岡山、三宮、西宮、岡町、阿部野京都、金沢、名古屋の八支部から、MIAに二五〇名、一般大会には四〇〇名内外であつた。

MIA大会

神戸難区役所のホールは清潔で美しく、広さも適当で、MIAには恰好な会場である。

会場準備が不十分だった訳か、六時四十五分から始められたが、三宮支部役員の働きや、司会者古芝兄弟の機敏な措置によって、幕切れもなく、スムーズにプログラムは進行し、爆笑、拍手、感嘆のうちに八時三十分を終了することが出来た。

幕開けは、名古屋二人の兄弟によるネグロスピリチュアル、ハーモニイも美しく雰囲気盛上げに大変役立ち、続く西宮のハワイアンショウは、お揃いの衣裳も華かて楽しかった。

岡山二姉妹の優雅な日本舞踊のあと、京都は、イルカ売りと言う小人数で乍ら懸命な寸劇、名古屋全員は浴衣姿にお揃いの手拭草履で郷土色も豊かな郡上踊りを披露した。

三宮は新作港音頭、手拍子打ち乍らの賑かな演出、リズムに乗った軽快な金沢の行進曲岡町の多彩華麗な大コーラス、最後に、阿部野のよく練習されたスクエヤダンスで幕を閉じた。

今回は全て舞台で活動が行われ、会衆は椅子にかけて観賞する行き方であった。照明等がなかったけれども、各支部それぞれ皆良



西宮支部 ハワイアンショウ

準備して来て、充実した充分に楽しいMIAであった。

神 権 会

長老定員会から渡辺、堀田、坂井の役員が東京から出席され、それぞれ長い神権者としての実生活から得た証が述べられた。

「教会の外の生活からは自分を進歩させる何物も得られなかった」と言う堀田兄弟の証は強く私たちの胸を打った。

その後、アロン神権会と長老定員会に分れて話があった。出席者一一〇名

扶 助 協 会

橋本姉妹の司会により、約二五〇名の出席者を得て行われ、扶助教会第一副会長渡辺姉妹を始め、四人の姉妹から、テーマを中心として話があった。

一 般 大 会

司会者中川兄弟、話手は亀井兄弟、誤り多い人に就いて謙遜を。柳田兄弟、自殺した姉妹の悲しい経験からサタンの巧妙な誘惑を逃れる手段に就いて。上野山兄弟、真の愛とは人の罪悪を見逃してあげることでなく、神の教えに従って忠告することであると云う体験からの実感を話した。

会場には確に聖霊が降り私たちはそれを感じ

ずることが出来た。会衆は四〇〇人余りであったが、必ずそれぞれが神に対する証を強め得たと信ずるのである。

話の間に阿部野支部のコーラスがあった。

証 詞 会

司会片山兄弟、証を述べた者十二人であった。間に名古屋支部のコーラスがあった。

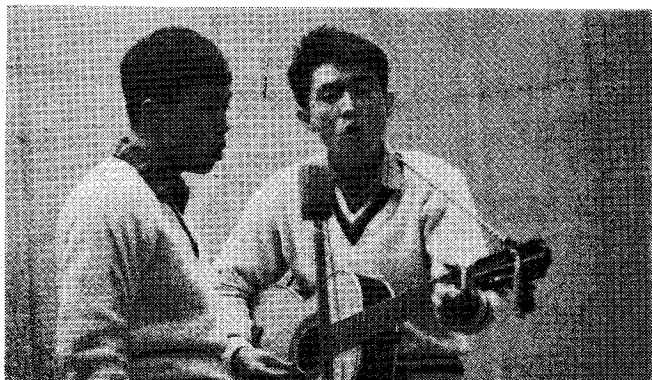
証に先立ち、地方部長鈴木兄弟の外、京都支部長片山兄弟、また名古屋支部書記土田兄弟の支持が行われた。会の後、片山、土田兄弟は按手任命された。

前大会後二ヶ月の間に支部が一つふえ、日本人による支部組織が十一支部の内九支部に確立されたということは何という前進であろう。本当に悦ばしいことである。

指 導 者 会

一般大会と証会との間に行われ、支部長会清水長老、日曜学校川田兄弟、MIA古芝兄弟、扶助協会秋元姉妹の指導によって、伝道本部の方針と実施面の問題等につき質疑応答が交された。会員の少い支部等では特に如何に支部に適応させて実施するか等の困難な問題があるようである。

毎回参加して感じるのは、大会開催地の支



名古屋支部 ネグロスピリチュアル

部の方々のみなみなならぬ奉仕である。今回も三宮支部のMIAに関して、また特に指導者会のために昼食の時間が無いので、昼食を用意して下さった阿部野支部の御骨折に對して、私たちは深い感謝を奉げたい。

遠方から旅費と時間の問題を解決して参加

する者にとっては、開催地会員の暖い歓迎と宿舍や会の準備や、また昼食といった事への奉仕の心が、どんなにか慰めてあり悦びであるか分らないのである。こういう所に本当のモルモンの精神が生きていると感じるのである。

何処が開催地になろうと私たちは奉仕の精神を生かしたいものだと思う。(記事柳田兄弟)

福岡地区支部

西中央地方部の地区大会が大阪と同じ福岡で、福岡、広島、柳井の三支部が集って開かれた。十一月十八日六時半福岡市婦人会館に於て第一副地方部長鈴木正三兄弟管理の下にMIAが開かれ、タレントショウを行った。参加支部が少い為、出席者は八十二名。しかし各支部の自慢のタレントを紹介した。

福岡コーラスと、ニュージーランドの戦いの踊り。オフムキニ長老の力強いリードにより地元支部らしく多人数が一丸となって頼もしいものだった。

柳井一劇、二人の宣教師を活用して、アメリカの家庭を表わし、そこへはるばる日本から伝道に行った二人の日本人宣教師が風俗習慣言語の違いに苦勞している様子は誠にユー

モアたっぷりて、皆哄笑の中に現在来日されている宣教師たちの苦勞と愛を偲んだことだった。

広島・村山姉妹のお琴、六段独奏、一人の姉妹を助けて広島支部の方たちの応援と地元の方たちの準備等、緑の下の力持ちが多数あつての成功と知ることが出来る。

なお、福岡には巡回宣教師を加えて十人の宣教師が駐在しているので、特に彼らの舞踊があり、鉢巻、袴、白足袋に装い整えた彼らの「古城」の踊り、又くだけて「琴平フネッネ」の踊りに興をそそられました。

日曜日は福岡支部建物で神権会、アンドラス伝道部長管理の下、鈴木第一副地方部長司会で十八名の少数ながら、重岡兄弟、西原兄弟、伝道部長のお話が有意義に行われた。

一方、天神ビルで扶助協会、地方部扶助協会会長柳田聡子姉妹管理、柳井の加藤姉妹司会によつて三十八名出席、アルマ書十三章二十八、二十九節を中心にして姉妹たちから話され反省と決意を促された。

一般大会、証詞会も天神ビルの美しいホールで九十人ほどの出席を見た。一般大会では兄弟姉妹たちのお話の他、伝道部長さんから新しい地方部長支持の提議があり、今までの

清水地方部長に感謝し、新しく鈴木正三地方部長を全員一致で支持した。その後鈴木新地方部長の力強い証詞と抱負を聞き、西中央地方部に始めて日本人会員の地方部長を戴きその発展を喜び、更に新しい発展の段階に入つた事を痛感した。

伝道部長さんからは末日の警告があり、神の奇しき力によつてこの世が変わるであろう事、神権の力は五十メガトンより偉大であること、末日の準備をして新しい教授法を使つて、皆が宣教師の様に積極的に周囲の人たちに眞の福音を知らせる様に各自勉強し、働くようにと、力強く鼓舞されて、一同胸に深く決意されたようである。

証詞会は伝道部長さんが隣室で宣教師の面接がある為、鈴木新地方部長管理の下に行われ、十六人の兄弟姉妹から証詞が述べられた。語る者も聞く者も聖霊を感じ、その喜びに閉会の歌「主は生けりと知る」を心から歌つて、この九州の地に於ける有意義な大会の幕を閉じた。

なお、美しい奉仕として特筆して御報告したい事が行われました。

十九日日曜日の朝、福岡支部に於て朝食の奉仕がありました。福岡支部の若い姉妹たち数人は、前日から教会に来て M I A の前に翌朝の食事の下準備をし、日曜日は朝まだ暗い五時半から教会に集まり、四十人分の御飯を炊いて美味しい味噌汁を用意し、焼海苔、漬物等を、宿泊した遠来の参集者たちに供したのです。

然も費用は一切受取らず、聞く処によると地元の福岡の兄弟姉妹たちが、旅費を使つて来る人たちの為に持ちよつたり、出し合つたりしたものという事です。無報酬の奉仕こそ我々の求めている美德であり、彼らが予告もなく黙々とその奉仕をされた事は生きた模範であり、大会を一層意義あらしめたものと高く賞讃するべきであります。

(報告責任者 柳田聡子)
西中央地方部扶助協会会長

* * * *

「私たちは永遠の中に生きている。福音は永遠に生きるという主なる神の計画である。生命と進歩に関する永遠の法則を理解すること、神の立てたもうた法則を履み行うよう私たちが自身を訓練すること以上に、私たちの時間と才能とを捧げるに足る価値のあるものは一つもない。」

……問題点

テキスト「あなたがたは、心を騒がせないがよい。神を信じ、またわたしを信じなさい。わたしの父の家には、すまいがたくさんある。もしなかったならば、わたしはそう言っておいたであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。そして、行って場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである。わたしがどこへ行くのか。その道はあなたがたにわかっている」。(ヨハネ伝十四〇一一四)。

学校のパーティーでダンスをしている一人の若い女性が相手の男に言いました。「私のところの教会の信仰の中で私のたしかに知っていることが二つあるわよ。私たちは知恵の言葉を信じているし、什分

神の国でまた逢いましょう

の「一を納めることになっているわ」。彼女のダンス相手とその前に、あなたはモルモン教会の会員ですかと聞いたとき、彼女は「ええそうよ」とはつきり答えたのでした。彼はそれからまた彼女に、ほかの教会と大へん違っているモルモン信仰についてもたずねたのでした。彼女はそう聞かれてすぐさま知恵の言葉と什分の一を言ったのですが、相手の男は口早やに「ああそう」と応じただけでした。その問題についての会話はそれきりになって、二人が踊っているとき、彼女は宗教の問題をもう一度切り出すきっかけをつくらうともがいている自分に気付きましたが、巧みに近づくことはとてもできないと見てとってあきらめることにしました。

その晩家へ帰ったとき、彼女は自分にたずねました「あの時私がどんな返事をする事ができたならばもっとモルモン教会を知ることに興味をもつようになったらどうか」と。

自分の返事を見つげるために、彼女は自分の信じている宗教のどの部分が自分に異常な興味をもたせているかを知らうとして、教会の中で自分が出合ったいろいろな経験を探し求めました。とうとう、過去の経験を全部ふり返って見、現在の感じを全部点検してみ、た末に、教会の教えの中で強い興味を覚えさせるものとして非常にさわ立っている教え、また自分の知っているかぎりほかの教会の教えと特にちがっているのは「永遠の生命」に関する教えであるとき

めました。彼女が後で語ったところによると、かつて自分の心につまでも消えない深い印象を与えた感動的の宗教経験を振りかえっているうちにこの教えを選ぶ理由をみつけたということです。

まず始めは、彼女がバプテスマを受けて入会確認の式を受けた後で、彼女のワード部の監督が「あなたは今やこの地上に於ける神の王国の一員です。もしもあなたが主の誠命に従って生活をするならば、あなたは父なる神と御子イエス・キリストとが、あなたの生れない前にこの世に生を受けた先祖の人々の多くと一しょに住んでおいでになります『天にある神の王国』の一員となるにちがいありません」と言ったときに、その監督から学んだ教訓でありました。この新しい思想は完全に彼女の想像力をとりこにして、彼女はこの地球を去った後のもう一つの存在を長い間じっと黙って考えてみたのであります。

彼女には、自分に大きな力で迫ってきたすばらしい感銘というもう一つの忘れることのできない回想がありました。それは彼女の姉が新しく生れた女の赤ちゃんを抱いて病院から帰ってきた日のことでした。帰宅の興奮がしずまって、気持ちが上ずっている家族がおちついたときに「ちよつと赤ちゃんを抱いてみない？」と姉が彼女に言いました。彼女がこの新しい生命の小さな塊を抱きとって用心深く安楽椅子に腰をかけたとき、彼女は人間の誕生と人間の始まりに附随している神秘について楽しげにじっと考えこんだのでした。彼女が人間の始まりについての考えを感じとったとき、姉が始めて告げた意見は新しい理解の宝庫の鍵をまわしてこれを開いたものでした。「天のお父さまは、私にその一番かわいらしい小さな霊を送って下さったぢやない？」とその誇り高き母親は赤ちゃんの上に

かけた毛布を整えながら言いました。「ほんとにそうだわ」と妹は考え深く答えました。その通りにちがいありませんでした、というのはその瞬間に、本当に人生というものは人間に割り当てられた束の間どころではなく、遙かにはるかに意味のあるものであるという深い確信が湧き上ってきたからです。

彼女の考えに非常に大きな影響を及ぼした第三番目の経験は、彼女が自分の母親と結婚について論じていたとき起ったのです。これまでに、若い人々にはぞくぞくとする歓喜を与え、取こし苦勞をする両親にはぞつとする心配を与えるロマンス、しかもばつと現われてばつと消えるロマンスの一つがありました。母親と娘とが愛と長期にわたる計画とを語っていたとき、二つのたましいが同じ思いでしみじみと語り合うことのできるすぐれた経験が二人の間に生じたのです。彼女は母親が母親自身についていろいろなこと、しかも彼女をすっかり一人前のおとなに感じさせ、また非常な責任を感じさせたいろいろな事を話したことを忘れることができませんでした。

しかし、彼女がしみじみと感じた大切な点は、母親が死後も家族としての生活があると信じている美しい信仰でした。彼女はそれまでに永遠の結婚について度々聞いていました。しかし、母親が彼女に神殿で神権者の権能によって結ばれたのであるから、彼女の夫も家族の一人一人も自分が忠実でさえあれば永遠に自分と共に居れると語ったときの顔つきを見ては、この世の何ものをさしおいても母親と同じようにはつきりと断言したいと思いました。これによって、彼女は立派な神権者と結婚したい、しかも唯一一つの正しい結婚、すなわち神殿結婚をしたいと思いました。

さて、以上述べてきたことが、永遠に関するわが教会の教えは全

くすばらしい独特なものであると彼女が信じた理由でありました。彼女は「もしもあの時私が即座に『私一つのことを知ってるわ、神の国でまた逢いましょうね』と言ったなら、彼は私の信じているモルモンの教えについてもっと知りたいと思って、また質問をしてきただろうに」と結論を下しました。

私たちは、毎日神の国へ昇るために努力をしています。この確信がなかったら、私たちの考えたり行ったりしていることは全く無意味であります。いつか私たちが天上で与えられる住居は、この世の生活でつくっている材料によって作られるのです。天国に行くのも行かないのも、みな自分のよいと思ったことをする行いによるのです。もしも私たちが主の道を履み行う努力をするならば、死後の生活について私たちの知っているすべては私たちの霊を高め私たちの霊に感激を起させます。それは義しい人たちには救いと昇栄を必らず与える主なる神が約束していられしからです。死後の生活で私たちを支配する法則は、福音の計画の啓示の中で私たちに知らされている法則と全く同じであると知ることは、これらの法則をできるだけ若いうちに覚えるとき非常にその知識の価値を増すのであります。神は永遠であります、また神の与えたもう原則も永遠であります。私たちの生活を永遠の真理と一致させるように整えるための福音の知識は、永遠進歩の本質とも言うべきものであります。この教えは簡単であるために人が誤解してほとんど重大に考えませんが、きわめて根本的な教えであります。主なる神は「汝らはただ訓練を受ける目的のためにこの世の規則に慣れているが、死後の生活では新しい規則が汝らの動きを支配するであろう」という意味のことを仰しゃって人を混乱させておいでになりません。私たちは戦争

があろうと、戦争のうわさがあろうと、不景氣があろうと何があろうと、只今ここで私たちの欲しているような永遠の存在を得るための計画を立てることができません。永遠に関することは人間の状態の浮き沈みによって変りません。永遠に関することは一定にして不変、いつも私たちと共にあります。

死後の世界を考えるのは病的であると主張する人々もあります。それは余りに近視眼的の考えであります。人生の目標は、罪惡から救われて日の栄の最高に昇り、愛する者たちと共に神の御前に住むことです。もしも私たちが、この究極の目標をいつも心にかけていないなら、私たちは星を見ないで波を見ている航海者のようにあてもなく漂よって行くにちがいありません。

主イエス・キリストが導きとめぐみを施しておいでになった御業の絶頂に位する出来事は、疑いもなく、主が死人の中から復活をなさったことであります。復活から生ずる偉大なことは、個人の生命がいままでつづくという事実であります。そこで、神のまことの教会の会員はぐずぐずせずに永遠の生命という原則を宣べ伝え、その生命を得るために主なる神の啓示したもうた計画の意味を理解することが肝心であります。世の人々が救いを求める方へ動かされなくてはならないなら、世界は永遠の生命の知識を必要としております。この世に於ける豊かな充分意味のある生活と結びつけるなら、人が永遠の生命を得るといふことは、宗教的の教えと慣行に注意を払わせる上に最も説得力のある「理由」であります。

誰でも若い末日聖徒は、人が死ぬときどうなるかわしいことをはっきり知るために、モルモン経のアルマ書第四十章から始まる聖句を読んで理解すると結構でしょう。この世に於ける行いに応じて人々の受ける日の栄、月の栄、星の栄の三つの階級の世界をはつき

りと主が宣べておいでになる教義と聖約第七十六章の内容を、私たちは一人のこらずよく説明ができなくてはなりません。これら主がお授けになった啓示は、永遠の生命という事実であって、ただ末日聖徒イエス・キリスト教会にだけあります。その永遠の生命は、これを熱心に求める人々は誰でも信仰と理解によって得ることができるのであります。

私たちが友だちと交わる場合に、もしも私たちが永遠の生命の教義を説明することを知っているなら、友だちに対して測り知れないほどの働きをすることができます。この教えは友だちが考え願ひ求める、深い内容のあるものを与えます。モルモン経、教義と聖約、高価なる真珠等についでいる、この教えに関する豊富な知識は聖書についでいる同じ真理を認めるに当って大きな助けとなるにちがいありません。

あの惨酷な十字架処刑の直前に、イエスはゲッセマネの園に退しいて、天にまします御父にお祈りになりました。新約聖書ヨハネ伝第十七章にのこされているように、私たちは永遠の生命に関するキリスト御自身の考えを述べた次の壮厳きわまりない御言葉に接することができずす。すなわち「父よ、時がきました。あなたの子があなたの栄光をあらわすように、子の栄光をあらわして下さい。あなたは、子に賜わったすべての者に永遠の生命を授けさせるため、万民を支配する権威を子にお与えになったのですから。永遠の生命とは、唯一のまことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされましたイエス・キリストを知ることです」(ヨハネ伝十七〇—一三参照)。

神とキリストとを知るといふことは、神とキリストとを愛し、神とキリストが私たちに賜うた誠命を守ることであります。この誠命

を忠実に守り行うときには、主なる神は私たちに必らず永遠の生命を授けることを約束して下さいます。

「教授の手助け」

一、レッスンの目的

私たちのすることは何事でも一時限りのものでなくて永遠に関係があることを見抜く力を強めるように生徒たちに導きを与えること。

二、教授の方法(提案)

(1)レッスンの始めに聖句を読んで考察すること。

(2)教師が非教員員になって、これに対し一人一人の生徒が次のことを説明する。イエス・キリストの回復された福音はどのような特質によってほかの教会の信条とちがっているか。

三、生徒たちの参加に対する提案

(1)前の実習で先生に答えた説明の採点をせよ。

(2)生徒たちの生活で、どのような場合に永遠の進歩をしたいと一番願ったことがあるか、すべての生徒たちに指摘させよ。

四、生徒たちの応用に対する提案

(1)どのようにしたら、私たちの言ったり行ったりすることを永遠の見地から考える役に立つか。

(2)どのようにしたら、同じことを友だちがするのを助けるのに役立つか。

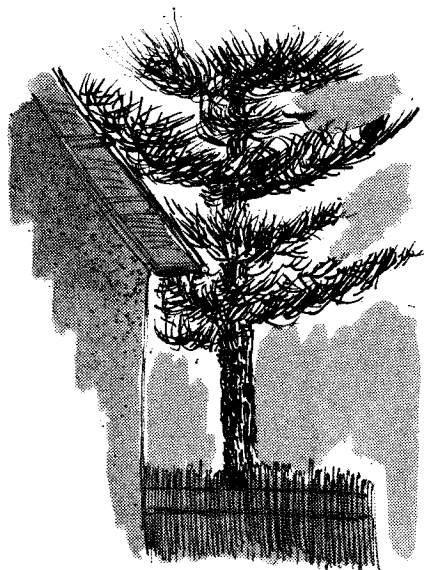
(3)私たちが主なる神と結ぶ誓約はすべて永遠を基準にしてしなければならぬ。これらの誓約をいくつか挙げて、それらの誓約をする機会のないほかの人々と私たちはどのようにちがっているかを指摘せよ。

エンサインローレル教科課程
(来週エンサインとローレルは一しよに集ります)

この家も私たちのものです

「末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は誰でも数々の神殿があることに気づいているし、またそれらの神殿が私たちの信仰の中で占めている特殊な地位ということにも気づいている。神殿の意義をもっとよく理解するために私たちは何をすることができるか、また神殿へ入るために私たちはどのようにして準備をすることができるか。」

.....問題点



テキスト「この故に、われ誠に汝らに告ぐ、汝らの灌油の儀、汝らの聖なる洗い、死者に代る汝らのバプテスマ、汝らの聖会、またレビの子らに由る汝らの捧物の記念、神よりの交通を受くる最も聖き所に於ける汝らの神託、汝らの律法と審判、啓示の始まりと、シオンの基と、シオンのすべての市制と榮と誉れとエンダウメントは、わが聖き名のために建てよとわが民の常に命ぜらるるわが聖なる宮居の儀式によりて制めらるるなり。われ誠に汝らに告ぐ、われその中にてわが民に儀式を示さんがためわが名のためにこの宮居を建てよと。われ創世の前より隠されたこと、すなわち時満ちたる神権の時代に関することをわが教会に示さんと図ればなり」(「教義と聖約」百二十四〇三十九―四十一参照)。

「末日聖徒イエス・キリスト教会が神殿を建てるのはなぜですか。礼拝、勉強、レクリエーションなどに使われる正規の集会場と区別されている教会の神殿があることを気づく人は誰でもこのような質問をします。若い人々にはその質問について論ずることを避ける人が多いというのは、その人々に神殿については話しをするものでないという考えがあるためか、またはおとなたちが「神殿へ行く」と言うほかに神殿についてほとんど知っていないためかであります。どちらの場合に於いても、説明と理解が欠けているために、教会のプログラムの中で一番有益で靈の感激を与える面が無駄になってしまっています。

私は「この神権時代」に教会が建てた最初の神殿であるカートラ

ンドの神殿を見に、オハイオ州カートランドまで旅行をしました。ペインスヴィル行ききのバスがクリヴランドを發車したとき、私はこの旅は實際非常に聖なる地点へ向う巡礼の旅であると強く感じました。私はオハイオでのいろいろな出来事を注意してくわしく述べてある予言者ジョセフ・スミスの教会歴史をちょうど読み終ったところでしたから、カートランド神殿のもっている意義が、私にはっきりわかっていました。私がここを訪れるもう一つの背景として、私はハワイを除く私たち教会の神殿の一つ一つを妻と同伴で全部訪ね終っておりまして。今や私は、神の与えたもうた直接の命令に^{こた}応えてこの末日に建てられた最初の神殿に入ろうとしていました。ペインスヴィルの大通りからカートランドへ行くには交通の便がありませんでしたから、私は約三マイルの道を歩きました。私が道の曲り角をまわって、川の方へゆるやかに下っている丘のところへ来たとき、私は始めて神殿を一目見ることができました。なだらかな丘の頂上にある小さな原の向う側に、今まで私がたくさんの写真でおなじみになっていた神殿の塔が見えしました。

よろずのものが回復された多事の時代に、予言者ジョセフ・スミスと初期の教会員のために役立った「主の家」がここにありました。カートランド神殿の役目には一つの確固たる主要な目的があります。それは神の誠命を与える便宜であります。私がこの歴史的の建物で起った驚ろくべきいろいろの出来事を思い起したとき、私は主なる神がこの地上にまことの神の教会を立てることに關する数々の啓示と指示とを与えて、神の結びたもうた約束をたくさん果してしまわれたことを実感しました。また、聖徒たちが神のまことの教会

に關する肝心な教えを受けることのできる一つの場所を与えるという根本的な用途は、今なお私たちの教会の神殿の主な目的であるという考えが私の胸に浮びました。カートランド神殿の二階には、ジョセフ・スミスが導きと教えを施こしていた間に開かれた「予言者の塾」のために使われた部屋があります。私は頭の中で、この神聖な部屋の内て真理を教わった多くの人々、すなわちブリガム・ヤング、ハイラム・スミス、ウィルフォード・ウッドラフ、ヒーバー・C・キンボールそのほか教会の屈強な開拓者たちの姿をたくさん見ました。これは私に、教会の監督の職を勤めている間のすばらしい経験^{きんげん}を思い出させました。

教会の総大会で集りが開かれているうち、私はワード部やステーク部の神権者の指導者たちと、ソルトレーク神殿の階上の部屋へ集るように招かれました。そこで私は、十九世紀の初頭にカートランドの神殿でさだめられたと同じ様式で、二十世紀に於ける教会の管理大祭司（大管長）から神の国の教義について教えを受けました。

カートランドの神殿で、私はこのほかに多くのことに心をひかれ、多くのことに感嘆しました。カートランドの神殿は建築の点から見ても美しいものです。それはがっしりとした建物で、それを建てた時の献身と巧みな技倆とが明らかにあらわれています。しかし中でも私の信仰を強めたのは、末日聖徒イエス・キリスト教会が、此世に住む神の子らが祝福を受けるために神殿を建設するに當って今まで原則または手続きに於いて主なる神の計画と目的からはずれていないことであります。

教会の青年たちは、私たちの神殿について何を知っていなくてはいけません。もしも教会の青年たちが、神殿へ入りたいと

心からねがう人間に成長するべきであるなら、彼らは福音の計画の中にある自分の役割について、よく理解をしなければなりません。今、神殿のもつ根本的の機能をしらべてみましょう。

始めに当り、福音の原則と標準とを忠実に実践して、ワード部の監督もしくはステーク部長の推薦を受けた女の会員はすべて神殿に入るができるということを理解するのが大切です。男の会員の場合は、女の会員に要求されるすべての資格を満たさなければならぬ上に、大神権の保持者でなければなりません（小神権の保持者は、死者の代りのバプテスマを行う時と両親にシール「結び固め」をされるときに入ることができます）。誰でも、此世の地位、財産、学歴、そのほかのもの的高下多少によって神殿に入るのを妨げられることはありません。義しい人、神の啓示したもうた生き方を固く守り行う人なら誰でも「主の家」すなわち神殿に入ることができます。

神殿へ入る推薦を行う手つずきの一部である監督とステーク部長とによる個人面接に関しては、主なる神の前に於ける被推薦者の立場についてその個人の資格の有無をきめるようにしてあります。私たちが監督やステーク部長を主なる神の代理者であると認めるのはよいことです。そうすれば私たちの資格について述べる言葉は、人の心の底まで知りたもう主なる神に向って述べるのです。とりわけ私たちは、私たちの品行が正しくて神殿に入る資格があるかどうかを聞かれます。

神殿の精神と目的とから言えば、汚れた身を以てもしくは悔い改めていない心で、入る資格のない人間が神殿に入るならば、それは神殿を汚す者であります。私たち自身のためにも、福音のめぐみに

あずかる機会がなくて死んだ身寄りの者たちのためにも、私たちは神殿の中で「神殿の儀式」を執り行います。その「神殿の儀式」は一つでなくいろいろなあります。死者の代りのバプテスマは、神殿の地下室にある美しい「浸礼槽」の中で身代りの人が執り行います。生きている人々や死んだ人々のための身代りの人々に執り行われる「エンダウメント」の儀式は、永遠から永遠にわたる人間の旅路についてのくわしい教えとすることができま。講話と象徴的の表現によって、私たちは此世の生活の目的と方針とを教えられ、また未来と私たちの得る特権と、従って私たちの負うべき責任について教えを受けます。実際、「エンダウメント」とは、資格のある人々に、神から授かる知識の賜物を固く着けるということであります。神殿で行われる「エンダウメント」は神聖な儀式でありますから、くわしいことは人前で論ずることをさしひかえて、忠実な人々が神殿に入った上で実際に体験をして悟ることになって居ります。

私たちは、神の誠命を守るといふ厳肅な誓いを述べて誓約をする主なる神との契約を、神殿に於て正式のものとするのを許されています。これまでに神殿へ入る機会を得た人は、誰でもみな、神殿の中で主なる神と結んだこれらの約束が誘惑にうちかつ大きな力の源であり、またどんな場合にも義の道をふみはずさないための大きな力の源であると異口同音に申します。というのは、神を信ずる者はどんな時でもあざむかれなからであります。

これとは別に、神殿の中だけで行われる厳肅な儀式があります。これは夫婦子供両親を神権の権能によって結び合わせるシーリング、すなわち「結び固め」の儀式であります。もしもこの規定がなかったなら、福音はまことに不完全なものであります。私たちは、

もしも私たちが忠実でありまた福音の計画の中にある規定を固く守るなら、その存在と愛情とによって、将来の天国がどんなものであるかを此世に於いて知らせてくれた愛する家族の人々と永遠に愛し共に住むことができるという約束を、神殿の中で神からたまわるのであります。

神殿の中で見聞きすることはすべて美しくして私たちの霊を高めるものであります。この地球上で最も神聖な業に従事している教会の会員たちと交わりを結ぶことができるのは、それ自身すでに計り知れない祝福であります。神殿に入る準備をしている者にとって、神殿より以上のものはないということを知るのは、青年にとって大切であります。その準備は、神の誠命を守るといふ決意と、いつも福音の教えに従って生きるという意志から始まります。またその準備は、私たちのために主なる神の思っておいでになるねがいを理解するように聖典をたえず勉強することによって続けられます。その準備の中には、他人に対する奉仕の愛を發達させることと、他人に役立つという技術を毎日実行することを含んでいます。神殿の儀式の原動力となる原則を行うに当っては、利己主義の入る余地は少しもありません。神殿に入る準備について確かに起ってくるいろいろな疑問については、あなたのもっている種々の問題についていつもよい考えを与えようと切にねがっている監督と二人で、最もよい解答を得るように考えることができます。聖なる神殿ほど、完成した末日聖徒の生活をよく表わしている象徴はほかにありません。

神殿はその与える数々の祝福と教えとによって、この地球上にあるあらゆる大建築よりもすぐれた地位を占めて居ります。私たちは神から生まれた息子や娘たちとして、神殿の与える神聖な感化を受

け、けんそんと感謝との念を以て「この家も私たちのものです」と主張する者であります。

「教授の手助け」

一、レッスンの目的

生徒たちが、神殿で得られる数々の祝福を受けようと求めることができるように、また数々の祝福を追い求めるように各自の生活を整える望みを起しその望みを強める目的で、神殿の目的と用途とを理解するよう生徒たちに助けを与えること。

二、教授の方法（提案）

(i) レッソンの始めに聖句を読んで考察する。

(ii) いろいろなちがった神殿の画をもつてくるよう生徒に割り当てて。これは前のレッスンのときにする。教師は一人一人についてできるだけ多く集めること。これらの神殿の中にあるものについては、建築の歴史を語ることができよう。

三、生徒たちの参加に対する提案

(i) ほかの教会はなぜ私たちの教会のように神殿がないか。

(ii) 神殿の儀式は個人生活にどんな影響を及ぼすか。家族生活には如何。もしも神殿の儀式を行わなかったら、私たちの生活は変わるだろうか。

エンサインローレル教科課程

EIGO KAIWA

DAI 2 K A

Chōrō : Sakihodo mōshigemashita “Anata ni otsutae suru kotoba” to yū panfuretto desuga, orusu no toki ni oukagai shimashita node watakushitachi no hōmon shita mokuteki to igi wo anata ni rikai shite itadakuyō ni oite mairimashita.

Tanaka San : Mochiron wakaranai tokoro ga takusan arimasu. Watakushi wa imamade, yoi seikatsu wo shite ireba dono kyōkai ni zokushite itemo kamawanai to omotte imashita ga, kono panfuretto wo yondekara, kyōkai niwa onoono chigatta oshie ga ari, dono kyōkai demo tadashiiwake dewa naikoto ga wakarimashita.

Chōrō : Mattaku sono tori desu. Mousukoshi sonokoto ni tsuite ohanashi shitaito omotte imasu. Watakushitachi ga otaku wo hōmon shita honrai no mokuteki wa kaifuku sareta Iesu Kirisuto no fukuin no subarashii shinri wo otsutae surutame desu. (aida) Kono shinri ni tsuite, oukagai shita toki nimo sukoshi ohanashi shimashitashi, sono panfuretto no nakanimo sukoshi kaite arimasu.

Tanaka Fujin : Watakushi tachi no shiranai koto wo oshiete kudasaru nodeshitara, zehi kikitai to omoimasu.

Chōrō : Watakushitachi wa futsū kono yō ni kateishūkai wo hiraite hitobito to tsudou toki, minasan to issho ni oinorishimasu. Tanakasan wa kono ie no aruji desukara, Tanakasan no yurushi wo itadaitekara watakushi no dōryō B Chōrō ni oinori wo shite itadakitai to omoimasu. Yoroshiideshōka.

Tanaka San : Dōzo shite kudasai watakushitachi mo tokidoki oinori

ENGLISH CONVERSATION TEXT

LESSON 2

Elder : We mentioned a moment ago, Mr. Tanaka about reading the pamphlet we left for you called, "A Message For You." Since we were not able to meet you the first time we called at your door, we thought it would help to give you some assurance of our purpose in visiting your home, and giving our message, while you were absent.

Mr. Tanaka : There is, of course, much about it that I do not understand. I have always thought that if didn't matter which church you belong to, as long as you lived a good Christian life - but this pamphlet indicates that it does matter - and that all the Churches can't be right, because their teachings are different.

Elder : That is surely right, Mr. Tanaka, and we will want to tell you more about that. Our original purpose in coming to your door, was to seek an opportunity to tell you and your family of the glorious truths of the Restored Gospel of Jesus Christ (pose) we have but announced some of these truths to you. Both at the door and in the pamphlet which we left.

Mrs. Tanaka : We are anxious to hear more about this - to see if you have something that we do not have.

Elder : It is customary, Mr. Tanaka, when we meet with people, in a cottage meeting such as this, to have prayer with them. We want to respect Mr. Tanaka as the head of his family and home, and with your permission, I will ask my companion, Elder B to offer prayer.

Mr. Tanaka : Go right ahead, we have prayer now and then but not

wo suru nodesu.

Chōrō : Tabun watakushitachi no hanashi ya kyōkai ni tsuite, takusan no shitsumon ga arukoto to omoimasu. Sorera ni yorokonde okotae shitara to omoimasuga, konya wa, watakushitachi no seikatsuni okeru shūkyō no yakuwari ni tsuite uchitokete ohanashi shitai to omotte orimasu.

Tanaka Fujin : Watakushi no haha wa itsumo inoruyō ni mata kyōkai e iku yō ni susumeteita koto wo omoidashimasu.

Watakushitachi wa itsumo souchite imasendeshitaga, kono aida, anatagata ga irasshatte kara kangae saserareruyō ni narimashita.

Kiyoko : Watakushi ga Nichiyō Gakkō ni ikanai to, okāsan wa shikarun desuyo. Katsuhiko Chan mo kyōkai e ikimasu. Nichiyō Gakkō no sensei wa totemo yasashii hito desu.

Chōrō B : Kiyokosan, Katsuhiko kun sore wa totemo ii koto desu. Itsumo Okāsan no ossharu koto wo yoku kiite kudasai ne.

Chōrō : Sate Tanaka san, Shūkyō ni tsuite kangae te mimasyō. Moshi shinri wo shiru hōhō ga wakarana kereba, mata shinri to itsuwari wo kubetsu surs kotoga dekina kereba ningenno Shūkyō ni taisuru kangae wa ayamatte shimau nodewa naideshōka.

Tanaka San : Watakushi wa ryōshin ni yotte zenaku wo wakimaeru koto ga dekiru to omoimasu.

Chōrō : Ryōshin ya hunbetsu wa, zenaku no kubetsu ga hakkiri dekiru tokini, watakushi tachi wo tadashii hōkō e michibiku ōkina yakuwari wo hatasu nodesu. Shikashi, tadashiku nai koto wo tadashii to shinji te itsumademo shūchaku shite ireba ryōshin no michibiki wa arimasen. Tatoeba watakushitachi wa mainichi nanseiki mono aida ukeire te kita machigai wo ossowatte iruno desu.

often enough.

Elder : You perhaps have many questions about our Message and Church ; please be assured that we will want to answer them, but tonight may we just have a heart-to-heart talk about religion, and the part it should play in our lives.

Mrs. Tanaka As long as I can remember, my mother always taught me to pray and to attend church. We haven't always done it, but I have thought a great deal of these things since your visit the other day.

Kiyoko : Mommy gets mad at me if I don't go to Sunday school - Katsuhiro goes too - our Sunday school teacher is real nice to us.

Elder B : Well, that's fine, Kiyoko and Katsuhiro you should always obey your mother.

Elder : But seriously, Mr. Tanaka with regard to religion, is it not a fact that man's concept of this can go far astray if he does not understand how to know the truth and how to detect error and falsehood?

Mr. Tanaka : I have always felt that a person's conscience would tell him what is right or wrong.

Elder : Conscience, or our better inner self, plays an important part in directing us to do the right thing when the choice of right or wrong is clear. But, it would be of no help in guiding us if we persisted in believing something that was absolutely false thought to be true; for example, we are learning things every day that disprove things that have been accepted for centuries.

第一長老定員会

神権者活動の計画

毎年内密の訪問、その他の訪問を行うこと。

毎年出来るならば定員会会長会の一員が定員会の会員一人きりと会合して教会の基準と一致する件について話し合うために一度訪問すべきである。この面接を行っている間に考慮される適当な項目には「什分の一」を納めること、安息日を守ること、聖餐会に出席すること、茶、コーヒー、タバコ、アルコール性飲料及び麻酔性性薬剤を全然のまぬこと、家族の祈り、地方に於ける教会幹部および教会の大幹部を言葉に於ても行為に於ても支持すること、教会のきまつてゐる規則に対して反対をしてゐる背教者の団体を精神的にもそのほかにも賛成してはいはないかということ、神殿の儀式と系図の探求について教会や定員会のすることに活潑に参加すること、伝道部の計画に財政的その他の援助を与えることそのほか個々の場合に適切であると思われる項目等が含まれる。

これらの項目を毎回の面接で全部話し合えと言うのではない。ま

たすでに答えが解っている質問をせよというのではない。毎年の終りに「什分の一」の報告は支部長から得られるはずである。各支部長は定員会の各会長の各会員の「什分の一」支払状況が各々の場合「完全」か「一部分」か「無払い」かを一々記して知らせるはずである。しかし如何なる場合に於ても支部長は各個人の納める金額を知らせるべきでない。

各定員会の会長はその定員会の会員の「什分の一」支払状況について厳に秘密を守るべきである。

これらの内密の面接は上手にまた気持よく行うべきであつてその趣旨は兄弟たちを定員会にもっと引きよせるため、兄弟たちを追いつかうためではない。明らかにこれらの面接は定員会の指導者にとつて彼らがその定員会の会員を義しい道に導くために必要とする理想的な機会でありまたあまり活潑でない会員に誠命を守るよう教え且つ勧める好い機会でもある。これらの面接で得られる知識の多くは毎年の秘密報告にのせて報告される。

定員会会長会の会員以外は誰もこの内容の面接をするべきでない。広い地域にわたつてゐる伝道部では各定員会会長会は地方部大会（通例年四回）を利用して毎年一回の面接を行う予定を立てることができよう。とくにもし彼らがあらかじめその定員会の会員に地方部の大会へ出席することを促す手紙を出しておけば好都合である。こういう風にしても連絡のできないわずかの会員には定員会会長会の一員が直接赴いて会うべきである。

三月日曜学校練習の讃美歌

四三番 「日の照る間に働け」

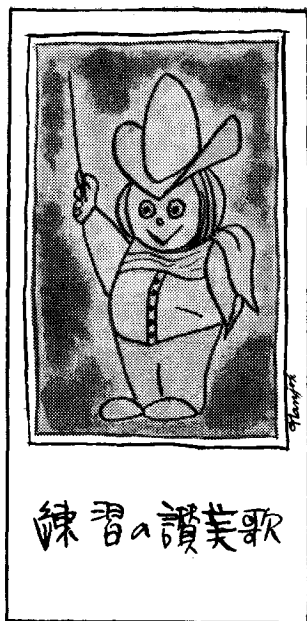
曲の感じとしては元氣よく楽しそうにうたって下さい。歯切れよくうたうようにしないと同じような旋律のくり返しのうちに音程がとれなくなりがちです。充分気をつけて下さい。くり返しの部分は同じ拍子のくり返しのようにうたっているのを聞きましたがそれは間違っています。例えば始めの「今日今日」と次の「今日今日」は違います。

来月の歌は「一六番」です。

子等は歌う五十番 「私の庭」

歌詞も旋律も可愛らしい歌です。しかし少しむずかしいですから始めから順序よく憶えるようにしてください。それにはまず教師が憶え込む事で、ピアノやオルガンにたよる事はしないで下さい。次にあわてないこと。どうしても少し早くなりがちですからそれも注意して下さい。

来月の歌は「一九番」です。



子供の日曜学校ガイド

— 三月用 —

新年度教科書について

各支部、如何でしょうか？

もう揃いましたか？ まだでしたら、どうぞ一日も早く支部長を通して購入してください。余分に教科書を印刷しておきますが、すぐに売切れになる恐れがありますから、御注意ください。

なお、一月号で、教科書名を聖書物語とだけ載せましたが、新約聖書物語を今年度は使います。お間違いない様、お願い申し上げます。

次に載せましたのは、参考までに過去どの様な事柄をこの頁で取り上げて来たかをまとめたものです。

六月○始めて子供の日曜学校に出席した子供たちに対して指導者のとるべき態度。○お祈りを子供自身に任せましょう。

七月○子供の日曜学校開始時間。○学ぶ場所。○レッスン方法。

○活動

八月○どのようにして、辛子ちゃんは彼女の『くせ』をなおしたか？

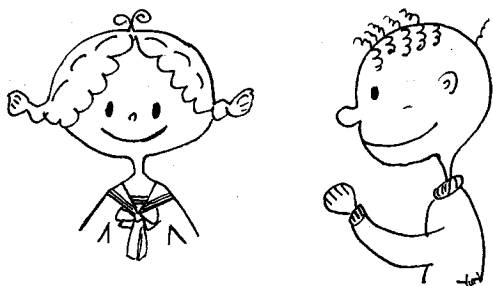
九月○役員教師の皆様へ。

十月○フランネルボードで使う紙人形。

十一月○クリスマスのため。

十二月○覗き箱。○聖句朗読。

物 語



新しい土地での新しいお友達

リサの家では、それはそれは忙がしい一日でした。彼女のお父様もお母様も、大変うれしそうでしたが、リサは少しも、うれしくありませんでした。何故ならば、リサはまもなく両親と共に新しい国に引越さなくてはならないと知っていましたから。

宣教師の訪問以来、お父様もお母様も、とても幸せそうです。お母様はお仕事をしながら歌をうたっていますし、また、お父様は何時もニコニコと、面白い事を云って皆んなを笑わします。両親は、たびたび新しいユタの家の話をしていますが、リサはデンマークの家をとっても愛していますので、その話を聞くたびに、どうぞそうなりませんようにと希望しながら聞いているのです。けれどリサは、どうしても引越さなくてはならないのだと知っています。一日中、お母様は荷物を整理し箱につめています。お父様は口笛をふきながらお母様を手伝っています。もちろんリサもお手伝いをしましたが、彼女の頭の中では、どうしてこの美しいデンマーク、そして仲良しのお友達、自転車と別れなければならぬのだらうと考えていました。

「リサいらっしやい。」

明日はいよいよ出発ですからネ。

今夜は早くやすみましよう」とお母様がおっしゃいました。

「どうして？ ママ、どうしても行かなくてはならないの」とリサは泣きじゃくりました。お母様はリサをひざにだっこして静かに涙をぬぐってくれました。そして、こうおっしゃいました。

「私たちは、この広い大きな世界で、ほんの小さな小さな者なのです。昔々神様がこの美しい世界を私たちの為に作ってくださったのです。この地球で過す全ての人々は、かつて天にいらっしやるお父さまの下で一緒にくらしていた人たちなのです。私たちは一人のこらず天にいらっしやるお父さまの子供で、私たちがどこに住んでいようが、お父さまは私たちを愛し見守ってくださいなのです。ユタに行っても、このこと同じように私たちは幸せでありましようし、私たちの家なのですからそこを愛することでしょう」と。

大きな飛行機での旅はとても楽しいものでした。リサは幾つもの質問を両親にあびせながら楽しく旅をつづけました。

二・三日してリサはユタの家に着きました。引越中の楽しさと変わり、リサは急に淋しくなりました。或る朝の事、リサは表に出て

ポーチに立っていました。階段を一つ一つ下りて芝生に立ちました。美しい芝生で、また、輝くばかりの色をした花、大きな木は涼しい木陰を作っています。リサはしばらくしてから家に戻ろうとした時、だれかが話しかけたように思い、ふり返ってみますと、門のそばにリサと同じ位の背丈をした少年が立っていました。彼は黒いまき毛で茶色の目をしていました。そしてリサをみてはほえんでいます。

「今日は、僕はマイク、一緒に遊ばない？」

リサは言葉が判りませんでした。彼の云った意味が判り門を開けてあげました。芝生には、こまどりが飛んできてビョンビョン飛び廻っています。マイクは両腕を広げて翼を作り芝生の上をビョンビョン飛びます。リサはくすくす笑ってしまいました。それから、リサも腕を広げて翼を作りマイクと同じ様に飛びました。二つのこまどりは笑いながら一生懸命に飛びまわりましたのでチョット休むことにしました。二人とも顔を見合せて、ニコニコしました。

次の日の朝早く、マイクがリサの家にやってまいりました。リサのお母様は、きつとマイクの家で遊びたいのでしようから行つたら

っしゃいとリサに教えてくれましたので、リサはマイクの家で遊びました。そこには大きな砂場とブランコがあり、二人は一緒に仲良く楽しく遊びました。

「ブーラリコ、ブーラリコ、ブーラリコ、ブーラリコ」と、マイクが歌えば、あとからリサもまねをします。

「ブーラリコ、ブーラリコ」

「そう、そんな風に云うのだヨ」とマイクが云いました。毎日毎日マイクとリサは一緒に遊び、だんだんにリサはこの人もよい人たちなのだと判って来ました。日曜日が来るとリサは早く目がさめました。今日はマイクと一緒に教会に連れていってくれるのです。リサは一番きれいな洋服を着て、金髪を髪をよくときました。リサが日曜学校に足を踏み入れるとオルガンの音が聞えています。リサはデンマークにいた時と同じ暖かいものを感じました。彼らの言葉は異つても、メロディは同じでしたのでリサは他の子供が讃美歌を歌っているのに合わせて、いつのまにかハミングしていました。聖餐式も同じでした。

小さな男の子が祈っている間、リサも心の中でお祈りしました。福音の勉強をしている時には、先生がリサにはほえみかけ、頭をなで

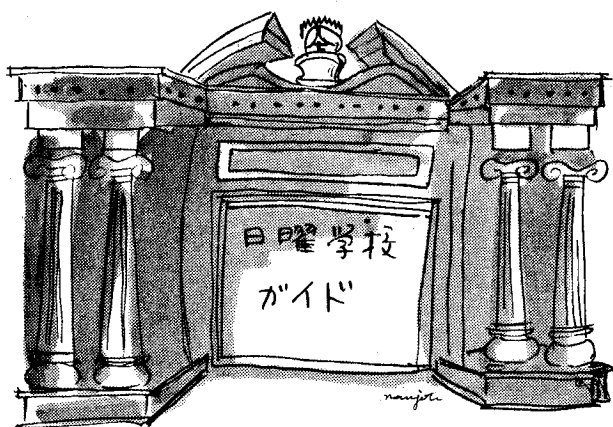
てくれました。だれもがリサに対して、とても親切なので幸せでした。日曜学校が終つてからリサは両親が他の大人のひとたちと会堂からでてくる所をみつけました。リサはお母様の所に走り寄り、

「お母様、」

お母様のおっしゃった通り、世の中はすばらしいわ。そして私は新しいお家や、新しいお友達が大好きヨ」。

以上の物語は、言葉を使い分けられ、上・中・下級のいずれにも適応します。このままですと上級向でしょう。全ての人間は神の子供であると教えてあげてください。

子供の日曜学校ガイド教材



3 月 用

役員の皆様に

日曜学校を更に進歩させるためには、教会の標準を研究して、できるだけそれを自分たちの支部にとり入れる必要があります。その標準となるものとしてソルトレーク日曜学校中央管理会で発行している「日曜学校ハンドブック(手引)」があり、現在これを謙訳中であります。けれども種々の理由で印刷されてお手もとに届くにはまだ少し日時がありますので、その中で最も大切な記事をこの欄を借りて、これから数回紹介したいと思います。

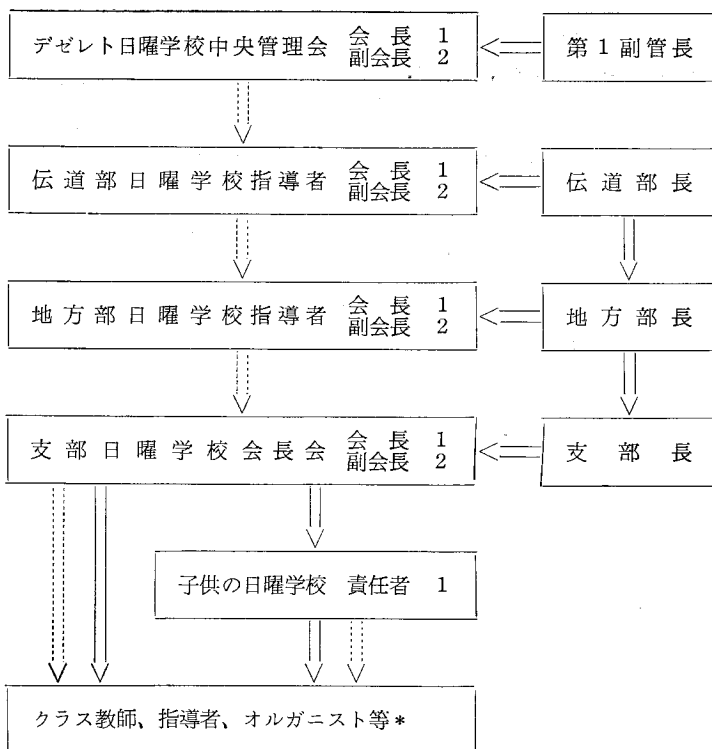
目 的

日曜学校の目的は教会の会員、求道者に「キリストの福音」を教え、それを実生活に応用して真の幸福と平和な生活を得させることである。そのためには天父と御子と聖霊に対する知識を深めて、神に対する証を強め、ジョセフ・スミスによって回復されたこの末日の福音を更に研究することが要求される。その一助として神を讃美し、礼拝し、福音を学ぶ場所の日曜学校が存在するわけである。

組 織

日本、沖縄、韓国などの伝道部の組織は次頁に書かれている通りである。簡単に説明すれば当教会日曜学校の管理は「デゼレト日曜学校中央管理会(会長はジョージ・R・ヒル)によって行なわれ会長は第一副管長によって任命、管理されている。現在伝道部日曜学校指導者として鈴木ゆり子姉妹と私が伝道部長によって選ばれております。当伝道部では地方部日曜学校指導者は東中央地方部にしか組織されておりません(伝道部日曜学校指導者兼任)。子供の日曜学校には会長会は存在せず責任者一人が(大人の)日曜学校会長によってきめられます。そしてこの責任者は会長会、支部長の承諾を得て子供の日曜学校のクラス教師など任命管理するのである。

ここで気を付けなければならないのは会長が副会長、教師などを選ぶ際、直接それを頼んではならないことである。必ず支部長の許可を受けて支部長会の一人からそれを依頼してもらうことが筋にかなっている。会長会以外の教師、指導者などは必ずしも支部長会より聖任される必要はない。



* 歓迎委員、出席奨励委員、図書委員など

==> は任命、管理系統

-----> は実質的な面の指導系統

イエスのアメリカ訪問―レッスン資料

次頁を開くとイエスが復活後アメリカを訪問してなさった大切な事柄が抜き書きされています。主のアメリカ訪問はニーフアイ、アルマによって予言されており、ニーフアイ第二書二六〇―一九、アルマ書一六〇―二十。そしてニーフアイ第三書にははっきりそれが成就したことを明らかにさせる記事がのっており、ヨハネ伝十〇十六に主はユダヤ人たちにはっきりと「この囲いにはいない他の羊をも導かねばならない」とおっしゃっております。それが実現したことを私たちは卒直に述べずにはおられません。しかもマタイ伝にある「山上の垂訓」が更に完全な形で書かれているのは実に大きな恵みであります。(例えば十二〇三の「われに來る者……」はマタイ伝五〇三には見られません。その他キリストの教会にはキリストの御名がつけられるべきこと、種々の儀式について正しい方法など沢山お教えになりました。これらを学ぶことにより更にモルモン経典への証を強められ、教材として一助となれば幸いです。

- イエスは聖餐の意味について説明なされた。

(18〇1～11, 28～32; 20〇8; 9)

イエスは生活の方法としての福音を教えた

- イエスは福音の大原則は「悔改め、バプテスマ、最後まで耐え忍ぶこと」とであると定義した。

(27〇13～22)

- 異邦人は悔改め、バプテスマを通して契約の民とされるとイエスは人々にはなした。

(21〇22)

- 「しかして、汝らが必ず受くと信じて、わが名によりて絶えず御父に乞い求むるものは、その正当なるものなる限り、すべて汝らに与えらる」。

(18〇20)

- 「汝らの妻子が祝福を受くるよう、たえずわが名によりて家族の祈りを御父に捧げよ」。

(18〇21)

- 信仰ある人々は必ずやキリストへの奇跡に出合う。

(19〇35, 36)

- イエスは人々に聖典を研究するようお命じになる。

(23〇1～5)

- 「またこれらの者は互いに教え、互いに奉仕して、一切の物を共有してお互い同志を正しくとり扱った」。

(26〇19)

- 「故にわれまたは天にまします汝らの父が完全なごとく、汝らもまた完全とならんことを」。

(12〇48)



イエスのアメリカ訪問

(ニーファイ第三書)

(現在なおインディアンにはキリストが昔訪問したことを暗示するような伝説がある。
これは映画「太陽の帝国」にもでてくる。)

イエスは民を祝福なされた

- イエスは病める人々を治し、自分の所に連れてこられた子供たちを祝福した。

(17〇6—13, 21)

- イエスは聖餐式のためのパンとぶどう液を弟子や群衆に与えた。

(20〇3—9)

- イエスは選ばれた聖徒たちのために祈った。

(17〇15~22, 19〇28~36)

イエスは教会を組織なされた

- 教会の名にイエス・キリストの御名がつけられるべきであること。

(27〇3~8)

- イエスは十二弟子を召した。

(11〇18, 12: 1, 19〇4)

- イエスは十二弟子にバプテスマをほどこしたりする権能を与え、種々の儀式に関する正しい方法を教えた。

(11〇21~26)

- イエスはまた十二弟子に聖霊の賜物を与える権能を与えた。

(18〇36~39)



MIA

リーダー

三月八日 「演劇祭」

此の日のために早くから演劇グループは稽古に入って居ることでしょう。大作を一本でぶつけるのもいいし、また時間の配分を考えて、小品を二本持つて来るのもよいでしょう。唯、注意しなければならぬことは、練習不足の茶番劇や準備不足のドタバタ劇だけは見たくないものです。年中行事の一つであり、演劇部の発表会の唯一の機会ですので大いに張り切って欲しいと思います。演劇のグループ・リーダーは、早くからクラスの意見をまとめ作品の選定や、稽古日、スタッフやキャストを定め、部外者の手伝いが必要であれば早目に依頼することです。MIAの会長会は総責任に当り、宣伝を早く行い、支部内の多くの人がこの日に集る様に努力しましょう。また道具の不備はあらかじめわかりますから、演劇のグループ員と協力して、作製するなり、どこからか借りるなり、早目に手を打たないと当日あわてることになります。またカキワリ等を作る場合は、冬の季候を考え早く作りはじめないと乾かないで給具がぬれず困る事もあります。まずこれらの準備をするに当って次のことを厳守して下さい。

一、MIAで行う演劇ですからMIAの演劇の標準を遵守すること。

二、費用の負担を個人に絶対負わせないこと。

三、練習時間は夜の九時半以後にならぬこと。

四、演劇グループの中のエンサイン、ローレルは九時になったら帰宅すること。
五、練習の始めと終りとは祈りによってなされるべきである。

演劇グループ・リーダーは「演劇指導者基礎知識と脚本集」を持って居られると思いますが、もし、新しく任命された方で、まだ持っていない方、新しい方はMIA会長を通して買して下さい。そして一読して下さいと良いと思います。定価は七十五円。伝道本部にあります。

もしある支部で誰かが脚本をかきおろして上演する場合は、練習に入る前に、支部長、或は地方部MIA指導者、伝道部中央管理会MIA指導者に脚本の認可を得てから上演準備に入して下さい。未発表の作品を上演してしまつてから、MIAの標準に合わない場合が多々出て来るようでは困るからです。演劇は多くの人に深い感銘を与えるもので

す。舞台の上で演技をする人も、また裏にあってそれを助ける人も一つになって、打ち込む時、その脚本の中から訴えるものが人の心を大きく動かすものだと言われます。

MIAに於いても立派なものを上演して下さい。(栄子記)

三月二十二日 「ゲームで遊ぼう」

ゲームによる合同活動ですから各グループ活動はありません。時間の配分を充分考えてプログラムを作製して下さい。ゲームの中には大別して二種類、すなわち屋内ゲームと屋外ゲームとがあります。更にそれを分けると、八つのものに分類出来ます。パーティ・ゲーム、クイズ・ゲーム、探索ゲーム、ゆうぎゲーム、曲芸ゲーム、戸外ゲーム、ミクサー・ゲーム、ダイス・カード、将棋ゲーム等です。各支部でMIAを開いている場所によってゲームの選び方も違うと思うのです。ゲームを始める時は、初めての方も沢山居るのでから解説者を通して手ぎわよく簡単に説明しましょう。集っている年令の層の違いによって好みも違います。やってみてあまり良い効果がなかったら、それをいつまでも繰り返さずに次のものにうつりましょう。

一人の司会者だけでなく、何人かの人に責任を分けておきましょう。(栄子記)

三月二十二日 読書課程のレッスン

参考の為に

Mメン・グリーンナーとエン
サインローレル共通。

今年度の読書課程は「ニーファイ第三書」です。これはモルモン経の中にある大きな書の一つを読むことであり、特に興味深い所です。と言ってもモルモン経の約十分の一位の部分にしか当りませんので、一年のうちにこれを読んでしまえないほど多忙な人はないと思います。モルモン経の背景をまだよく知らない人はモルモン経の始めから読み、第三ニーファイの終りまで読むようにお進めします。またモルモン経を形成しているものと年代表を付け加えておきましたから参考にして下さい。

一、第一章——第八章 キリストの降誕から復活まで。

生き返ったガデアントン強盗団が当時の青年の空想を強く支配していることを知るのであるが、これらの青年は容易に甘い言葉にさそわれて多数の者が強盗団に加わった

(ニーファイ第三書一章二十九節)。

ラコニアスの指導による総罷業(ゼネラル・ストライキ)が行われた。このようなことは、太古の時代から中世紀の間に至るまでずっと旧世界で企てられてきたことであった。それは中世の初期バゴードイの暴動に始まって中世の終りの農民一きに至って居り、あらゆる場合に「強盗大名」すなわち人々を食い尽す大名はガデアントン強盗団がしたと正に同じような反応を示した。ニーファイ人のうちに実業人、官吏、法律家などからなる中央集権の官僚政治が発達する(六章十一節)。

この様に全国に大きな不平等が出来てそのために教会はつづれ始めた(六章十四節)。ニーファイ人は国の中で分裂して「おのその家族と親戚と朋友とで党を結んだからついに政府を破壊する」(七章二節)。

「各党の法度はその党の首領が定めた」(七章十一節)。この様にしてニーファイ人の徒党は中央集権の政府を完全に負かした。これこそ、キリストが十字架にかかりたもうた時、大破壊が起った際に存在した事態の実情であった。

二、第九章―第十八章 キリスト、ニーフ

イ人の中で導きと恵みを施こし教えを与えたもう。

イエスはニーフアイ人に訓戒をなさる。

いけにえと火祭とを廃止させ、「真にへりくだる心と悔いる精神とを抱きて我に來たる者は、われこの者にみな火と聖靈とを以つてバプテスマを施さん」これを犠牲としてわれに捧ぐべきものなり。と教う（九章二〇節）。

天父なる神の完全な正義の計画を統一せんため、イエスはニーフアイ人の種族に、パレスチナでユダヤ人の種族に教え給うたと同様の真理を教えられた（十二章三節）。即ち八福の教えである。

十二章―十四章は山上の垂訓の記録である。聖書のマタイ伝五章―七章を参考にすると良い。エルデン・リックスによれば山上の垂訓は、すべての者―浸礼を受けていない人も―に対して与えられているイエスの教えであるという一般的な考え方に比して、モルモン経中には、山上の垂訓は、すでに浸礼を受けて教会の会員となった人に対して特に与えられたものであると記されている。

主の祈りがここにも述べられている（十三

章九節）。

十二使徒を召して、任命して、「まず神の王国と神の義とを追い求めよ。然すれば、なくてはならぬものはことごとく汝らに賜わるべし。」と言う信仰の原則を教え給う（十三章三三節）。

イエスはニーフアイの民でもなく、エルサレムの民でもないほかの羊を訪れると言われた（十六章一節）。

主はこの地にても奇蹟を行った（十七章七節）。

弟子や群衆は主の聖餐に与かり満たされた（十八章四節、五節、九節）。

家族の祈りについて（十八章二十一節）又教会員以外の人々も集会に出席することができ（十八章二十二節）。聖餐を受けるについて（十八章二十八節）。

三、第十九章―第三十章 異教徒に対するモルモンの切なるねがい。

ニーフアイ人の十二弟子の名（十九章四節）。

新しきエルサレムの建設（二十章二十二節二十一章二十三節）。

ニーフアイ人に与えられたマラキの言葉である什分の一について強い言葉を使っている。「神のものを盗む」とか、「什分の一

をことごとくわが倉に持ち來りてわれを試し見よ」等である（二十四章八節―十節）イエスキリストの名を教会につけよと言われた（二十七章四節―八節）。

十二人の弟子の中の三人は愛のヨハネと同様な希望を主に願った。（二十八章七節）。

三人の弟子たちは選ばれて天にあげられ天において色々のものを見聞きしたが、地上に於いてそれらのことを伝えなかった（二十八章十五節―十六節）。この三人は地の面をめぐって伝道し、主の道を信ずる者にはバプテスマを施こし、聖靈を授けて教会に加えた。その間種々の危害を加えられたが彼らは何の害も受けなかった（二十八章十八節―二十二節）。これらの三人についての名前は世の人々に示されない（二十八章二十五節）。三人の体の変化について（二十八章三十八節―四十節）。

ニーフアイ人の記録を抜粋し編集した人であるモルモンは、いつか将来モルモン経を読む特権を受ける異邦人に向って、警告の言葉と悔改めの切なるねがいを誌してニーフアイ第三書の結びとしている。

なお、エンサイクロペルの人は「エンサイクロペルの手引き」二百七十六頁―二百九十頁を参考テキストに使用して下さる。（榮子記）

モルモン経を形成するものと年代

ニーファイ第一書	BC. 600~BC. 588	ニー フ ァ イ の 小 版
ニーファイ第二書	BC. 588~BC. 545	
ヤコブ書	BC. 544~BC. 421	
イノス書	BC. 544~BC. 421	
ジエロム書	BC. 420~BC. 361	
オムナイ書	BC. 361~BC. 130	
モルモン言	AD. 385	モルモン
モーサヤ書	BC. 130~BC. 91	モ ル モ ン に よ る ニ ー フ ァ イ の 大 版 の 約 書 ^{つづめがき}
アルマ書	BC. 91~BC. 53	
ヒラマン書	BC. 52~BC. 1	
ニーファイ第三書	AD. 1~AD. 35	
ニーファイ第四書	AD. 36~AD. 321	
モルモン書	AD. 321~AD. 421	モルモン
イテル書	BC. 2,200~ BC. 600	モにテ書 ^{がき} ロよ ル ナ る の つ づ め イ イ 約
モロナイ書	AD. 400~AD. 421	モロナイ



末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹

26

第三部 オハイオおよびミズーリ時代

第十五章 ニューヨークに於ける教会

オハイオへ移る

(千八百三十一—千八百三十一年)

十九、トムソン支部（つずき）。この人々の中にレマン・コブレイと呼ぶ一人の男が住んでいたが、彼は当教会へ改宗する前「シェーキング・クエーカーズ」の会員であった。彼は広い土地を持っていたが、彼らの受けた啓示に一致する管理人の職を占めるためコーレスヴィルの支部へその土地を引き渡すことを承諾した。ところがコブレイはまだ完全に福音の教えに改宗していなかったらしく、後に自分以外の者と一しょになって叛旗をひるがえし全財産献納の誓約を破るに至った。この事はコーレスヴィルの聖徒たちの間に混乱を引き起し、彼らが主の前に危険にさらされたのはもちろん、彼らを敵のなすがままに任せた。この困難に際して、彼らはこの際何をなすべきかを知るために当時トムソンの支部を担当していたニューエル・ナイトを予言者（ジョセフ・スミス）の許へ遣った。

主は彼らに告げて「彼らわれになせる誓約を破りたれば、正にその誓約は徒となり何の効もなきものとなりぬ、この罪の責任を負うべき人は「海の深みに溺れたらむこそかえってよかりしならむ」と仰せになった。さて、コーレスヴィル支部の会員たちは「レーマン人の境なる」ミズーリの地に旅行し、主が将来彼らに一つの所を備えたもうまでその地に於いて「世の人々の如く汝ら生計を求むべし」と命ぜられた。この命を受けるや、ほとんど直ちに彼らはニュ

―エル・ナイトに導かれてミズーリへ旅立ったのである。

二十、ミズーリからの手紙。

六月の大会が終つてから数日後に五月七日附の手紙が一通オリヴァ・カウドリから届き、ミズーリに於ける自分自身と同僚たちの働らきに就いて知らせてきた。オリヴァはその中で、レーマン人やサンタフェイに近い西部の父と言われる「ナヴァホー」族の中で働いた彼らの働らきのことを話し、自分と同僚宣教師たちの住んでいる全地方のほとんどは「普遍救済論者、無神論者、長老教会派の会員、メソジスト派の会員、バプテスト派の会員その他クリスチャンであると公言する聖職者と教区民とから成り、これらが地獄のあらゆる悪魔と一しよになつて、教会の長老たちに対し盛んにひどいことをする」と断言した上に「神は私が彼らをのしつて訴えを起すことを禁じたもう、応報はそれを下す能力のある神のなしたもうことであるはずであるからである」とつけ加えている。

オリヴァがこれら辺境の地に住んでいる人々に就いて明白に言い表わした見解はまちがつて居なかつた。間もなく起るいろいろな事件がこれを証明するようになるからである。

二十一、西の地方への伝道。

千八百三十一年六月のなかばごろ前の大会で任命を受けた長老たちは二人づつ組んで西方へ旅立ち始めた。

この時トマス・ビー・マシユの同僚として選ばれたエズラ・テールは旅に出なかつたから、サラ・ジェー・グリフィンが彼の代りに行く任命を受けた。六月の十九日ジョセフ・スミス、シドニー・リグドン、マーテン・ハリス、エドワード・パトリック、ウイリヤム・W・フェルプス、ジョセフ・コー、アルチャノン・シドニー・

ギルバート等の人々が相共にミズーリを指して旅立った。以上の宣教師およびここに名が出ていないそのほかの宣教師たちはみな来るべき結果に大きな期待を抱いて各自の旅路を踏み出した。彼らの行く先はシオンすなわち新エルサレムの建設されるべき「ゆずりの地」であつた。主は彼らの旅行が終つたとき、この聖なる市の建てられる敷地を啓示すると前から約束して居りたもうた。

第十六章 シオンの地とその奉獻

(千八百三十一年)

一、住民の性格。

千八百三十一年七月のなかばごろ宣教師たちは西部ミズーリに到着し始め、その地に居た兄弟たちは涙と共に彼らを喜んで迎えた。当時合衆国の辺境であつたこの地には、東部からの脱走者すなわち身の安全をはかるために逃走せざるを得なかつた、始末におえない悪質の追放者たちが集つていた。予言者（ジョセフ・スミス）はこのことを「ほとんど一世紀もおくれた住民の墮落、知性の欠乏、残忍性、嫉妬などを目にするのは、いかにも自然なことであつた」と誌している。

二、シオンに於ける最初の安息日。

千八百三十一年七月十七日長老たちは最初の安息日をジャクソン郡で過し、ウイリヤム・ジョー・フェルプスが公開の説教をした。この時彼の説教を聞きに集つた人々は「地球上のありとあらゆる人種の標本」から成つていた。この集りの後で、さきに信仰に入つていた二人の人がバプテスマを受けた。

三、コーレスヴィル支部の会員到着。

二三日後にオハイオ州トムソンからコーレスヴィル支部の会員がミズーリに到着、現在カン

サス市の一部になっているコー町の土地に落ちついた。

四、働らきの割当て。 今やこの土地にのこるはずの長老数人に働らきを割り当てる義務が予言者(ジョセフ・スミス)の肩にかかった。その長老たちの中には啓示によってミズーリの地に永住する召しを受けた者もあったが、また一方、西方で伝道の働らきを終つたら東方の地へ帰るように指令を受けた者もあった。宣教師の小さな一団がオハイオからミズーリ指して出かけようとしていた時に教会に加入したウィリヤム・ダブルユ・フェルプスは、ききに主の御言葉によつて(教義と聖約第五十五章)オリヴァ・カウドリを助けて主の好みたもうごとく「幼児らも教えを受けるため」教会の学校のために書籍を印刷し選択し著作をする仕事をせよと命ぜられていた。彼がジャクソン郡に着くとこの命令がくり返し再び告げられた。

またアルヂヤノン・シドニー・ギルバートは金銭を受け入れ、これから教会員の落ちつく土地を買うため教会の代理人となる任命を受けた。

またエドワード・パートリッジは教会の監督として彼の召しを果すはずであった。彼の大きな義務は会員たちの必要に応じて、会員各々にそのゆずりの地を配分することであった。このようにシオン建設の中核としてのこるはずであった一人一人の者にいろいろの義務が割り当てられた(教義と聖約第五十七―五十八章)。

五、シオンの市の位置啓示される。 主はさきに約束した通りに今やそれを果したもうた。「何時の日か荒野は薔薇の如く華さかむ。何時の日か今を盛りとシオンは建てられむ。末の世に万国の民の訪い来るべき主の神殿は何所にあるならん」という問に対して主は次のように啓示したもうた。

「主なる汝の神言う。聴け、汝らわが教会の長老たちよ。わが命に従い、わが聖徒らの集る所と指示し聖くしたる地なるこの地、ミズーリに集り来れる長老たちよ。この故にこは約束の地にしてシオンの市を建つべき所なり。主なる汝の神かくの如く言う。汝らもし知恵を得んとすれば、そはここにあり。見よ、今インデペンデンスと称えらるる地はすなわち中心の地にして、神殿の建てらるる一地点はその西方に当り、裁判所より遠からざる地所にあり。この故に聖徒たちは土地を購うを賢しとす。また西の方ユダヤ人と異邦人との間を真直ぐに走る境界線に至るまであらゆる土地を買入れ、また広野と境を接するあらゆる土地をわが弟子たちが買入れ得るならば買入るるを賢しとす。見よ、彼らがこれを得て永久のゆずりとなすは賢きことなり」(教義と聖約第五十七章)。

六、聖徒は神の律法を守るべきこと。 この時下った別の啓示(教義と聖約第五十八章)の中で、教会の会員たちはその国の法律を守るのももちろん自分らに与えられた主の律法を守るべきことを命ぜられた。すなわち、

「何人も自らを支配者なりと思うべからず。されど神をして審く人をその聖旨のままに支配せしめよ。すなわち議する者、または審判の席に坐する人を聖旨のままに支配せしめよ。何人もその国の律法を破ることなかれ。そは神の律法を守る者はその国の律法を破る要なければなり。この故に今ある権力に服従し、統治すべき権能を持ちてすべての敵を脚下に踏みつくる者の統治する時の至るを待つべし」と。

七、多くの艱難の後に祝福は来る。 シオンが確立されてその市が直ちに建てられるはずであるという考え、さらに聖徒らはあらゆる

るほかのものとは無関係に自分自身の法律を制定する自由があるという考えは、明らかに聖徒たちの中の或る人たちがもっていた。従つて主は、前に掲げた通り律法を守ることに就いて訓令を与えたもうた。

主はこれより前に聖徒らを警しめ、彼らの守るべき義務とその国の要求するところとに就いて訓えたもうた。シオンの市がその時建てられるはずでないことは主の御言葉の中に見えている。すなわち、

「汝らは今後来らんとする事などに関する汝らの神のみこころ、および多くの艱難の後につづいて来るべき栄光につきては、現在肉眼を以てこれを見ることを得ず。多くの艱難の後に祝福は来る。この故に汝らが大きな栄えの冠を受くべき日は来るなり。而してその時は未だ来らずといえども近きにあり。わがあらかじめ告ぐるこの事を心に憶え、かくして汝ら須らく心に銘じて次に来るべきものを受けよ。見よ、誠にわれ汝らに告ぐ、この目的のためにわれ汝らを遣わせるなり。それはすなわち汝ら従順ならむがため、またこの後来らんとすることの証をなす心構えをなさんためなり。また汝ら基を開きかつ神のシオンの在るべき地の証をなす光栄を賜わらんためなり」(教義と聖約第五十八章)。

これよりして、われわれは聖句の上ではその時が「近きにあり」とあつても、シオンの市の光栄と偉大さとは将来に実現するよう延してあることがわかる。これら初期の入植者たちは基を開いて、地球の果てまでも福音を宣べ伝えた後、やがて来るはずである聖徒たちのために道を備えるはずであつた。その長老たちがやがて「世界の隅々より人々を押し集め」て来るからである。もし最初の働き手たちがすべての誠命を忠実に守るならば、葡萄園の中で最初に働

くことは彼らに授けられた大きな名譽であつた。

八、土地の奉獻。 コーレスヴィルの聖徒たちはコー町に落ちついた。予言者(ジョセフ・スミス)はその地に於ける「シオンの基たる一軒の家を建てるため」最初の丸太をすえる手助けをした。その丸太を運んだのはイスラエル十二の支族をあらわす十二人の男たちであつた。同時にシドニー・リグドンがその土地を聖別して奉獻すべきことが祈りによって明らかにされた。

予言者は「それは出席した者たちにとって喜びの時であつた。そして将来のことをちらりと見るを得たが、その時期はまだ忠実な人々の満足するほどに打ち明けられぬであろう」と語っている。以上はすべて千八百三十一年八月の二日に起つたことである。

シドニー・リグドンがその任命に応じて立ち上り、以下の問答があつた。

「汝らは感謝の心を以て、この土地を主より与えられし汝らのゆずりの地として受け入るや」

「然り」

「汝らは、これまで汝らの地にて守りしことなきこの地の神の律法を守ると誓うや」

「然り」

「汝らは将来ここに来る他の兄弟たちが必らず神の律法を守るよう気をつけることを誓うや」

「然り」。

メルケゼデク神権

教師と生徒用「モルモン経の読み方の手引き」

「生徒のために提示した要点」

第五課 月 日

読書教材

ニーフアイ第一書、十六―十八
章(五十五―七十三頁)。
レッスンの目的

(イ) リーハイとその移民団の旅行
を、レミユエル谷から約束の
地へ着くまであとをつけるこ
と。

(ロ) まことに「主が命じたもうこと
には、人がそれを為しとげるた
めに前以てある方法が備えてあ
り、それでなくては、主は何の
命令も人に下したまわない」こ
とを示す(ニーフアイ第一書三
〇七参照)。

(ハ) ニーフアイの確固たる信仰
と、その兄のレーマン、レミユ
エル二人がもっている懷疑主義
とを対照して示すこと。

読書教材の簡単な内容説明

このレッスンの読書教材は、リ
ーハイの移民団の人々がレミユ
エルの谷を出てから約束の地に着く
までの旅行に関係したことであり

ます。読んで行くうちに出てくる
最も著しい出来事はイシメルの

五人の娘たちがゾーラムおよびリ
ーハイの四人の息子たちと結婚し
たこと(イ) リーハイが「リアホナ」
(指向球)を発見したこと(ロ) ニー
フアイが弓を折ったことから起っ
た困難イシメルが死んでナホム
に葬られたこと(ハ) リーハイとニー
フアイに謀叛が企だてられたこと
(ニ) バウンテフルに着いて一隻の舟
を造ったこと(ト) 大海を越えて約束
の地へ着いたこと、などでありま
す。ここに於いても、ニーフアイ
の偉大な信仰力が全体に影響する
力になっています。

読書のときに考えるべき要点
(イ) 「リアホナ」(指向球)珍らし
い細工の円い球) はどんな原理
によって働きましたか。
(ロ) リーハイとその一行はエルサレ
ムからバウンテフルまで何年か
かって行きましたか。大たいど
ちらの方へ向いて行きました
か。

(ハ) ニーフアイが次のように場所の
名前をつけたのにどんな意味が
あるかわかりますか。「その地
をシエゼルと名づけた」(ニー
フアイ第一書十六〇三三)。「こ
こにイシメルは死んでナホムと
いうところに葬られた」(ニー
フアイ第一書十六〇三十四)。
「バウンテフルと名づけたこと
ろに来た」(ニーフアイ第一書
十七〇五)。

(ロ) ニーフアイがレーマンとレミユ
エルの二人に神の御力をよくわ
からせようとした時、ニーフア
イはモーセがイスラエルの人々
を率いてエジプトを脱出したと
きに行ったどのような五つの奇
蹟を挙げて言いましたか(ニー
フアイ第一書十七〇二十六―三
十・四十一参照)。

(ハ) どのような奇蹟的の出来事がニ
ーフアイのもっている偉大な信
仰を証明し、また海上の暴風雨
の背後に主なる神がましますこ
とをレーマンとレミユエルに確
信させましたか。

(ロ) リーハイの一行が荒野を旅して
いる間に、リーハイとサライア
の間に生れた二人の息子につけ
た名前に、どんな意味があると
考えられますか。
(ハ) 船に乗っていた不い進中が

踊ったり歌ったりして見せたこ
とがどうして主なる神を怒らせ
ましたか。

(ロ) 前からどんな不安の種をもつて
いたので、レーマンとレミユエ
ルが船の上でニーフアイをしは
ることになったのですか。二人
は何によってついにニーフアイ
と一致するようになりました
か。

(ハ) リーハイの移民団の人々は、約
束の地に着いてどのような動物
を発見しましたか。

(このレッスンの出来事が起っ
た期間は多分八九年にわたって
いると思われま)

「教師のために提示した要点」

第五課

教材ニーフアイ第一書、十六―
十八章(五十五―七十三頁)

「読書のときに考えるべき要点の
考察」

(イ) 指向球リアホナは人々の信仰と
熱心の強弱に従って動作しまし
た。(ニーフアイ第一書十六・
二十六―二十九)

(注) リアホナという言葉はア
ルマ書三十七・三十八に始めて
出てくる。

(ロ) リーハイとその移民団がエルサ
レムからバウンテフルへ行くま

では八年かかりました。この旅をするとき彼らは始め南の方へ行き(ニーフアイ第一書二〇四―五参照、紅海はエルサレムの南方に当る)次に東南に向きを変え(ニーフアイ第一書十六〇十三・十四参照)最後にほとんど東へ向いて行きました。(ニーフアイ第一書十七〇一参照)。

(三)ヒュー・ニブレイはその著「砂漠に於けるリーハイ」の中で、「シェゼル」という言葉の意味は「少しであるがいつも水がしみ出ている所、または木立ちのある所」であると言っている。どちらであつても、リーハイの一行は最初の宿営に適した地名として「シェゼル」より良い名前を選ぶことはほとんどできなかつたでしょう。ニーフアイが「その地をシェゼルと名づけた」(ニーフアイ第一書十六〇十三参照)と言っていることは、シェゼルがその区域に対してよく知られている固有名詞ではなくて、リーハイの一行が名づけた一つの地名であることを示しています。またニーフアイが「果実と野蜜が豊にあつたら、バウンテフルと名づけた土

地に来た」(ニーフアイ第一書十七〇五)と言っているとすることも、この名前はリーハイの一行がつけた名前であることがわられます。

これに反して、ナホムという地名については「ここにイシメルは死んでナホムと言うところに葬られた」(ニーフアイ第一書十七〇五参照)と言つてあります。これによつて見ると、ナホムとはその場所につけられた実際の固有名詞であつて、ほかの人々もナホムと言つていたことがうかがわれます。この考えが正しいというもう一つの証拠は、ナホム「*Nahomu*」に対応するアラビヤ語の語根「*Naham*」には「嘆息をする、または嘆き悲しむ」という意味があつて、或を区域の名称に使つたときには「嘆き悲しむ所」ということになるからです。

(四)リーハイはモーセが行つた次の五つの奇蹟のことを言いました。

(イ)紅海の水が左右に分かれたこと(ニーフアイ第一書十七〇二十六参照)

(ロ)イスラエル人にマナが与えられたこと(同十七〇二十八)

(ハ)岩をうって水を出し、人々にこれを飲ませたこと(同十七〇二十九)

(ニ)夜間、イスラエル人に光を与えたこと(同十七〇三十)

(ホ)イスラエル人が毒蛇にかまれたあと、これを癒したこと(同十七〇四十一)

(四)一度、レーマンとレミユエルがニーフアイのことを怒つて、彼を今や「海の深みに」投げこもうとしたとき、ニーフアイは次のように霊の力に満ちた雄弁をふるつて彼らに投げこむことを止めさせました。「全能の神の御名によつて命ずる。私に手を触れるな。私は身も燃えんばかりに神の力に満されてゐるから私に手をかける者は誰でも乾いた芦のように枯れてしまうからである。また神がかれを打ちたもうから、神の力の前には有れども無きがごとくになるであらう」と(ニーフアイ第一書十七〇四十八参照)ニーフアイの様子に何ものかがあらわれていたか、またはニーフアイの声に固い信仰があつたか、いずれにしてもレーマンとレミユエルの心に強い感動を与えました。それはレーマンとレミユエルがそれ

以上ニーフアイに攻めかからなかつたことでわかります。実際ニーフアイは「それから長い間にも、あえて私に手をかけ」なかつたと誌しています(同十七〇五十二参照)このことがあつてから間もなく、主はニーフアイに力をお与えになつたので、ニーフアイが兄たちにその手を向けること、兄たちは強い「衝撃」を感じました。そこで、気の変り易い兄たちは神の力が確かにニーフアイと共に在ることを信じたのみならず、地に伏してニーフアイを拜がもうとしました。「ニーフアイはそれをさせないで」「私はあなたたちの兄弟です。いや弟ではありませんか。それですから、あなたたちは主たる自分たちの神を拜して主の賜わる地に幾久しく暮すようあなたたちの父母を敬まいなさい」と言いました。(ニーフアイ第一書十七〇五十五参照)

(註)モーセの奇蹟のことについて、いわゆる「聖書の高等批評家」たちは、イスラエル人がエジプトを脱出したときに、旧約聖書にあるように、これらの奇蹟が起つたかどうか疑わしいと言っている(出エジプト記十

四〇九・二〇、二六六―三十一、一六〇四、十五、一七〇五一六、民数記二二一〇六・九参照)しかし、ニーフアイはこれらのことをレーバンの真鍮版(ニーフアイ第一書五〇十一参照)によって知っていた。それで、末日聖徒はこれらの奇蹟について疑いをかけるべきではない。重ねて、モルモン経は聖書の記事が正しいことを証詞する証人である。

ニーフアイは「主たる自分たちの神を拜し」云々と十誡から適当な引用をしているだけでなく(出エジプト記第二十章を参照)また「いや弟ではありませんか」と言ってレーマンとレミユエルが以前、ニーフアイが弟であるくせに支配者になろうとと思っていると批難したことを彼らに思い出させている(ニーフアイ第一書十五〇三十七―三十八参照)

(内)リーハイがレーバンの真鍮版を読んで、自分が「ヨセフの子孫、すなわちヤコブの子のヨセフの子孫である」ことを発見した(ニーフアイ第一書五〇十四参照)後から生れた二人の息子にそれぞれこの有名な先祖の名前をつ

けたことに目をつけると興味があります。そこでリーハイとサライアの間を生れた息子の名を年令順に挙げるとレーマン、レミユエル、サーム、ニーフアイ、ヤコブ、ヨセフとなります。

(出)船の上でニーフアイの兄弟たち、イシメルの息子たち、およびその妻たちは「おどりを踊り歌を唱った」が、はては「非常に粗暴となるに至った」ので、みなは彼らを約束の地へ導きたくもう主なる神とその仁慈を忘れるようになったのであります。

(内)レーマンとレミユエルは「われらは年下の弟に支配されたくない」(ニーフアイ第一書一八〇十参照)と言って、ニーフアイのことを怒り縄で彼をしばりました。主なる神はこの仕業を不興におぼし召して、大暴風雨を起し、しん盤の働らきを止めておしまになりましたが、彼らは四日後に自分らが正に滅びようとして始めて、ニーフアイに憐れみをかけてその縄をほどきました。とうとう兄たちはニーフアイと仲直りしましたので、暴風雨はしずまりしん盤はま

た動き始め、「何日も何日も」海上に暮した後、無事に約束の地へ着きました。(ニーフアイ第一書一八〇二二三参照)

(内)モルモン経にしろしてある獣の名前は「牝牛と牡牛とろばと馬と山羊と野山羊」であります。(註)もしもジョセフ・スミスが古代の記録から譌訳をしないで、自分でモルモン経を著わしたとしたら、モルモン経の時代にアメリカ大陸に馬が居たとは書かなかつたでしょう。千八百三十年には、大い歴史家や学者たちは、コロンブスがアメリカを発見した時に一匹の馬も住んでいなかったと確信していました。しかしながら、モルモン経が世に現われてから、いろいろの考古学上の発見によって、コロンブスがアメリカ大陸に来る前から、アメリカ大陸には馬が居たことがはっきり指摘されています。

(外)モルモン経にしろしてある獣の名前は「牝牛と牡牛とろばと馬と山羊と野山羊」であります。(註)もしもジョセフ・スミスが古代の記録から譌訳をしないで、自分でモルモン経を著わしたとしたら、モルモン経の時代にアメリカ大陸に馬が居たとは書かなかつたでしょう。千八百三十年には、大い歴史家や学者たちは、コロンブスがアメリカを発見した時に一匹の馬も住んでいなかったと確信していました。しかしながら、モルモン経が世に現われてから、いろいろの考古学上の発見によって、コロンブスがアメリカ大陸に来る前から、アメリカ大陸には馬が居たことがはっきり指摘されています。

(内)モルモン経にしろしてある獣の名前は「牝牛と牡牛とろばと馬と山羊と野山羊」であります。(註)もしもジョセフ・スミスが古代の記録から譌訳をしないで、自分でモルモン経を著わしたとしたら、モルモン経の時代にアメリカ大陸に馬が居たとは書かなかつたでしょう。千八百三十年には、大い歴史家や学者たちは、コロンブスがアメリカを発見した時に一匹の馬も住んでいなかったと確信していました。しかしながら、モルモン経が世に現われてから、いろいろの考古学上の発見によって、コロンブスがアメリカ大陸に来る前から、アメリカ大陸には馬が居たことがはっきり指摘されています。

(外)モルモン経にしろしてある獣の名前は「牝牛と牡牛とろばと馬と山羊と野山羊」であります。(註)もしもジョセフ・スミスが古代の記録から譌訳をしないで、自分でモルモン経を著わしたとしたら、モルモン経の時代にアメリカ大陸に馬が居たとは書かなかつたでしょう。千八百三十年には、大い歴史家や学者たちは、コロンブスがアメリカを発見した時に一匹の馬も住んでいなかったと確信していました。しかしながら、モルモン経が世に現われてから、いろいろの考古学上の発見によって、コロンブスがアメリカ大陸に来る前から、アメリカ大陸には馬が居たことがはっきり指摘されています。

(内)モルモン経にしろしてある獣の名前は「牝牛と牡牛とろばと馬と山羊と野山羊」であります。(註)もしもジョセフ・スミスが古代の記録から譌訳をしないで、自分でモルモン経を著わしたとしたら、モルモン経の時代にアメリカ大陸に馬が居たとは書かなかつたでしょう。千八百三十年には、大い歴史家や学者たちは、コロンブスがアメリカを発見した時に一匹の馬も住んでいなかったと確信していました。しかしながら、モルモン経が世に現われてから、いろいろの考古学上の発見によって、コロンブスがアメリカ大陸に来る前から、アメリカ大陸には馬が居たことがはっきり指摘されています。

(外)モルモン経にしろしてある獣の名前は「牝牛と牡牛とろばと馬と山羊と野山羊」であります。(註)もしもジョセフ・スミスが古代の記録から譌訳をしないで、自分でモルモン経を著わしたとしたら、モルモン経の時代にアメリカ大陸に馬が居たとは書かなかつたでしょう。千八百三十年には、大い歴史家や学者たちは、コロンブスがアメリカを発見した時に一匹の馬も住んでいなかったと確信していました。しかしながら、モルモン経が世に現われてから、いろいろの考古学上の発見によって、コロンブスがアメリカ大陸に来る前から、アメリカ大陸には馬が居たことがはっきり指摘されています。

(内)モルモン経にしろしてある獣の名前は「牝牛と牡牛とろばと馬と山羊と野山羊」であります。(註)もしもジョセフ・スミスが古代の記録から譌訳をしないで、自分でモルモン経を著わしたとしたら、モルモン経の時代にアメリカ大陸に馬が居たとは書かなかつたでしょう。千八百三十年には、大い歴史家や学者たちは、コロンブスがアメリカを発見した時に一匹の馬も住んでいなかったと確信していました。しかしながら、モルモン経が世に現われてから、いろいろの考古学上の発見によって、コロンブスがアメリカ大陸に来る前から、アメリカ大陸には馬が居たことがはっきり指摘されています。

「生徒のために提案した要点」 第六課 月 日 読書教材

ニーフアイ第一書、一九一―二二章(七十四―八十九頁)
レッスンの目的

(内)聖書にのっている真理を証しする一つの証人であり、また聖書と一しょになって一揃いの聖典となる書物としてのモルモン経の価値を示す役に立つため。
(外)聖典を読んで解釈をする間「みたま」に満たされていることの価値を証明すること。
(内)イザヤとニーフアイが予言者の権能をもっていた、いくつもの証拠をしらべてみることに。
(外)スラエルの集合、キリストの再臨、福千年に關して将来起る出来事を指摘する。

読書教材の簡単な内容説明
このレッスンに割り当てられた読書教材は、きわめて短いけれども本当は非常に大切なところでもあります。イザヤ書は旧約聖書の中で、聖書学者にとって最も理解の困難な書の一つであります。モルモン経のこのところ、私たちはイザヤ書の中の難解な二章に關する「註釈」を幸いにも与えられています。これはイザヤが此世に居た百五十年以内に生きていた「神の予言者」ニーフアイが書いたものであります。ニーフアイはイザヤの用いた象徴的な考えや比喩的の言葉をよく知っていましたから、このところにもニーフ

イ第二書(第二十五—三十二章)

にもあるイザヤの教えの明瞭な説明は、イザヤの教えのすぐれた註釈であります。ニーフアイは前からイザヤについてよく知っていました上に、今彼の見た偉大な示現によって新しく先きのことを見通していました。彼はその示現の中でイザヤの言った予言がたゞさん事実となつて現われたのを見たのでした。ニーフアイはこのように新しく事実を知らされたので、非常にすぐれた明瞭さと確信とを以てイザヤの言った数々の予言を説き明すことができるのであります。

とくにニーフアイが第二十二章でははっきりと言っていることに注目して下さい。

読書のときに考えるべき要点

(一)ニーフアイ第一書、十九章十節

「海の島々に住む者たち、ことにイスラエルの家の者たち、神の死にたもう時のしるしとして現われる三日間の暗黒」の中の「海の島々に住む者たち、ことにイスラエルの家の者たち」についてどんな意味が考えられますか。

(二)モルモン経の中の予言者たちは

どの記録からイザヤの言葉を得ましたか。

(三)ニーフアイ第一書二十〇一とイザヤ書四十八〇一と、およびニーフアイ第一書二十一〇一とイザヤ書四十九〇一とを比較してごらん下さい。モルモン経に引用してある聖句にはどのような意味の深い追加がしてありますか。このように重大なちがひのあることをどのように説明しますか。

(四)ニーフアイ第一書二十二〇七でニーフアイの言っている「異邦人の中の強大な国民」とはどの国民ですか。

(五)「汝らの神なる主は、われの如き予言者を一人汝らのために起したもう。かれの汝らに語るところは何ごとくでもこれに聞け。予言者の言葉を聞かぬ者は、すべて民の中から絶ち切られる」とモーセの言った予言者は誰のことですか。(ニーフアイ第一書二十二〇二十参照)

(六)福千年の間、なぜサタンは地球上の人々の「心をつかさどることができない」ようになるでしょう(ニーフアイ第一書二十〇十五・二十六参照)

「教師のために提示した要点」

第六課 月 日

教材

ニーフアイ第一書、十九・二十二章(七十四—八十九頁)

「読書のときに考えるべき要点の考察」

(一)キリストが十字架にかかりたもう時に現われるはずであった「三日間の暗黒」はエルサレムのまわりに居るイスラエルの家の者たちのために現われるのではなくて、エルサレムから離れたところに居る者たち、または「海の島々に住む者たち」のために現われるはずでありました。

エルサレムに居る者たちに現われるしるしは、後のところでゼノスが挙げて言っています「エルサレムにある人々と云えば……イスラエルの神を十字架につけ……世の人すべてに苦しめられる」と(ニーフアイ第一書十九〇十三)

(二)レーバンのところから手に入れた真鍮版(ニーフアイ第一書二十二〇一参照)

(三)ニーフアイ第一書二十〇一には「ユダの水からすなわちバプテスマの水から出」としてあります。旧約聖書イザヤ書四十八〇一には「バプテスマ」という言葉がありません。しかしながら、旧約聖書の時代から東大陸(アジア)に於てバプテスマが行われていたことはこのモルモン経の記事からも明らかであります。

ニーフアイ第一書二十一〇一には「再び言う、汝らイスラエルの家の者よ、わが民の牧者らが罪惡を犯したために折り去られ追ひ出される汝らは、みなわが民に属するイスラエルの家の者である、四方に散らされた者である」という言葉があります。イザヤ書四十九〇一にはこれがありません。

(四)アメリカ合衆国。

(五)モーセは「イスラエルの聖者」と救い主、イエス・キリストのことを言っています(ニーフアイ第一書二十二〇二十一、および使徒行伝三〇二十二、二十三参照) モロナイが初めてジョセフ・スミスに現われたとき、モロナイは、モーセの言っている予言者とはキリストのことであると云いましたが、さらに「しかしながら、この予言者の言葉

を聴かざる者は、その民の中より絶たるべし、と言うその日はまだ来ていない」と述べました
〔高価なる真珠〕ジョセフ・スミスの著二〇四十参照〕

〔約福千年の期間中、民は「イエスエルの聖者」イエス・キリストを王と仰いで義しく暮すにちがひありません。このようにしてサタンは彼らをつかさどる力をもたないであります（ニーフアイ第一書二十二〇二十六、および「教義と聖約」四十三〇二十九—三十一参照）

「生徒のために提示した要点」

第七課 月 日

読書教材

ニーフアイ第二書、一—四節
(九十一—百十頁)

レッスンの目的

(イ) リーハイがその息子たちに与えた数々の祝福を研究し、またその中に含まれた教えを学ぶこと。

(ロ) 「あらゆる物事にはみな反対がなくてはならぬ」ことを例を挙げて証明すること。

(ハ) 神は法則と秩序の中であることを示す。

(ニ) 「墮落」の前と後とに於けるア

ダムとイヴの「状態」に現われた違いを描写するところ。

(ロ) エジプトへ売られたヨセフの行った数々の予言をしらべる。

読書教材の簡単な内容説明

(イ) ニーフアイ第二書の始めのところで、リーハイはもう年をとって、死期を悟っている老人になっています。しかしながらリーハイは世を去る前に、父親の祝福を自分の息子たちに、特にエルサレムを出てからサライアとの間に生れた二人の息子であるヤコブとヨセフになえたいと思っています。

このレッスンの読書教材は、主としてリーハイがその息子たちに与えた祝福に関係があります。教材を読むときには、リーハイが述べた言葉の中にある教訓的の点に注目して下さい。さらに、大切な出来事としてこのレッスンの中にはリーハイの死、レーマン・レミエエルおよびイシメルの息子たちがニーフアイに叛いたこと、ニーフアイが信仰と信服させる力をもった言葉で雄弁を振ったことなどが含まれています。

(ロ) ニーフアイ第二書第一章に挙げられている出来事は、紀元前五百九十年以後に起ったことがどうし

てわかりますか。

(ロ) リーハイの言葉によると、主なる神がリーハイの移民団の人々と「主なる神がエルサレムの地からつれ出したもう人々」および以上の人々の子孫に与える、ゆずりの地としてこの土地を保つため、何を要求なさいましたか。

(ハ) リーハイがその息子のヤコブに与えた祝福の中で、人間が喜びを受けるためには、すべての物事に反対がなければならぬことを示すために使った論理のあとをたどって下さい。

(ニ) もしもあなたが法則のない世界に居たら、あなたは自分の自由意志を使うことができますか。

(ロ) リーハイの教えによると、「墮落」の前と後とにアダムとイヴの「状態」に現われた肝心なちがいは何でしたか。

(イ) 「アダムが墮落したのは人類を生ずるためであり、人類が現世に在るのは幸福を得るためである」というリーハイの言った有名な言葉の中にある根本的の大きな真理は何ですか。

(ロ) ニーフアイ第二書第三章の中に言っている四人のヨセフは誰と誰のことですか。

(イ) 主なる神は、ジョセフ・スミスが「モーセの如く偉大なる者となるべし」と仰せになりました（ニーフアイ第二書三〇七—十五参照）モーセの生涯とジョセフ・スミスの生涯で著しく似ているところは何か所ですか。

(ロ) ニーフアイ第二書三〇十二の聖句とよく似た聖句は旧約聖書のどの書にありますか。

(註) 「主がエルサレムの地からつれ出したもう人々」の中にはミレク人(ゼラヘムラの民) (オムナイ書十二—十六参照) が含まれているかも知れない。彼らはリーハイがこの予言をした大体同じ年にエルサレムを出ている。

「教師のために提示した要点」

第七課

教材

ニーフアイ第二書、一—四章(九十一—百十頁)

「読書のときに考えるべき要点の考察」

(イ) リーハイは、ニーフアイ第二書一〇四のところで「ごらん、私は示現を受けたが、それによってエルサレムがすでに亡びてしまっていることを知っている」

と言いました。旧約聖書の列王紀二十五〇一七を見ると、エルサレムはユダの王、ゼデキヤの第十一年に亡んだとしてあります。またモルモン経から、リーハイはゼデキヤ王の治世第一年にエルサレムを去ったことがわかります。(ニーフアイ第一書一〇四参照) これは紀元前約六百年のことであります。従って、紀元前六百年から十一年後は、少くとも紀元前五百八十九年となります。

モルモン経九十一百十頁間の上隅には「紀元前五百八十八年—五百七十年」としてありますがこれはいろいろな出来事がこの期間に起ったことを示唆しています。

このような紀元前もしくは紀元後の年を示唆している年数は、千九百二十年版のモルモン経に初めて出てきます。

(二)エルサレムから約束の地へ向けて、主なる神に導き出された人々は、彼らが神の誠命を守り、イエス・キリストを救世主であり贖い主であると信じているかぎり、約束の地はゆずりとして彼らのものであると保証されました。(ニーフアイ第二書一〇九

一十参照) しかしながら、もしも彼らがキリストを信じなくなつて捨てたならば、主は「他国の民を捨てて来て……住民を追い散らさせてこれを懲らしめる」(ニーフアイ第二書一〇十一一参照) と言いいになりました。

(三)要するに、リーハイの用いた論法は次の通りであります。

(イ)あらゆる律法には祝福がある一方に罰がついている。

(ロ)律法に従わないうときには、はじめの結果を来す罰を受けなければならぬ。

(ハ)律法に従うときには、幸福(喜び)を来す祝福が与えられる。

(ニ)律法がないところには祝福もなければ罰もない、はじめな様もなければ幸福もない、すなわち何も知らない状態があるだけである。

(ホ)このように、幸福(喜び)はその反対(不幸もしくははじめな様)のあるところだけに存在することができぬ。

四人が自由意志を使うためには、選びることが実現されなくてはならないし、また選びとる自由がなくてはなりません。

法則のない世界、従つて選択のない世界では選択の自由がありません。従つて真の自由意志の行使はありません。(ニーフアイ第二書二〇十五—十六参照)

(四)キリスト教の根本主張を理解するには、アダムの「墮落」について正しい考えがなくてはなりません。しかしながら、現在の世にある多くの教会は、「墮落」の前と後とでアダムとイヴの「状態」が本質的に変わったということを知らないでいます。

リーハイは、ニーフアイ第二書二〇十四—二〇七にあらわれているこの大切な問題について豊富な知識を与えています。次に「墮落」の前に於けるアダム・イヴの「状態」と「墮落」後に於けるアダム・イヴの「状態」を見易いように區別して掲げておきました。

(一)「墮落」の前
一、二人とも神の御前に居た。

二、二人は「死すべき身」ではなかった。

すなわち二人の体は不死の体であつた。

(ニーフアイ第二書二〇二十三)

三、「子供をもて」

三、二人は子供をもうけた。

(四)「墮落」は「人類を生ずるため」すなわちアダムとイヴが子供をもうけるために必要でありました。

人類が此世にある主な目的は幸福を得るためであります。「墮落」以前に、アダムとイヴはまことの幸福を得ることはできませんでした。

(註) この真理はリーハイがはっきり述べて居ります(ニーフアイ第二書二〇二十二—二十三参照のこと) アダムとイヴは、一度善悪の區別を知り、天使に福音を教つてからは、彼らが喜びを知り、子供をもうけるために「墮落」が必要であつたことを悟りました。アダムの言葉については「高価なる真珠」モ

一セの書五〇十一―十一参照のこと。

(㉔) エジプトへ売られたヨセフ

(ヤコブの息子のヨセフ)

(リリーハイの息子のヨセフ)

(予言者の父ジョセフ・スミス

(初代) ヨセフ・スミスと言

うこともできる。

(予言者ジョセフ・スミス(ヨ

セフ・スミスと言うこともで

きる)

(註) 次のように、ニーフアイ

第二書第三章から聖句を選んで

どのヨセフを言っているかを当

てさせる。

(㉕) 「主は私に仰せになった『わ

れは汝の子孫より一人の優れ

たる聖見者を起す』」(ニーフ

ファイ第二書三〇七) この

「私」はどのジョセフですか。

答 エジプトに売られたヨセ

フ。

(㉖) しかしてかの聖見者には私と

同じ名がつけられ、またその

名は彼の父の名をとってつけ

られる」(ニーフアイ第二書

三〇十五) この(かの聖見者

および「彼の父」とはそれぞ

れどのヨセフですか。

答 予言者ジョセフ(ヨセフ)

セフ) スミス(初代)

(㉗) 「故に、この誓約によって汝

は祝福されている。それは汝

の子孫がかの書物の言葉に聞

き従う故に亡ばされないから

である」(ニーフアイ第二書

三〇二十三) この「汝」とは

どのヨセフですか。

答 リーハイの息子のヨセフ

(モーセもジョセフ・スミスも

共に、

(㉘) 主なる神にまみえて、顔と顔

と合せて語りました。

(㉙) 神から直接に予言者に任せら

れました。

(㉚) すでに失われた知識を回復し

て、聖典となる書物をいくつ

も書きました。

(㉛) イスラエル人の集合を助けて

彼らの祝福を回復しました。

(㉜) 偉大な奇蹟をいくつも行いま

した。

(㉝) 神の啓示を受けて律法を与え

る人でした。

(㉞) 友だちからも敵からも強い反

対を受けました。

(㉟) 二人とも兄弟があつてその業

の成功を助けました。モーセ

の兄はアロン(出エジプト記

七〇七参照) ジョセフ・スミ

した。

(㊱) 「ウリムとトミム」などを持

つていました。

(㊲) ヨセフとユダの「木―杖」のこ

とはエゼキエル書三十七〇十五

―二十に言っております。ユダ

の「木―杖」とは聖書で、ヨセ

フの「木―杖」とはモルモン経

のことであります。これに關連

して、リーハイがヨセフの息子

マナセの直接の子孫であること

(アルマ書十〇三参照) は注目

すべき事実であります。また

ジョセフ・スミスは、イシメル

がヨセフの息子のエフライムの

直接の子孫であると教えまし

た。このようにして、リーハイ

の移民団の人々は純粋なヨセフ

の子孫であるので、その記録は

充分「ヨセフの木―杖」と言わ

れる資格があります。

「生徒のために提示した要点」

読書教材

ニーフアイ第二書、五―十一章

(百十一―百三十七頁)

レッスンの目的

(㊳) レーマン人に下った「のろい」

の性質とその目的とを研究す

ること。

(㊴) キリストの贖罪、復活、最後

の審判、イスラエルの集会等

を含む「福音の根本教義」に

ついてヤコブの述べた教えを

しらべる。

(㊵) 未来の生活とイエス・キリス

トの使命に関するヤコブの証

詞を読む。

(㊶) ニーフアイとヤコブの二人に

イエス・キリスト(この世に

おいでにならない前の) がお

現われになつたことを学ぶ。

読書教材の簡単な内容説明

リーハイの死後間もなく、リー

ハイの移民団は二つの主な団体に

分裂しました。一つの団体はレ

ーマンを頭に仰いで前の所にそのま

ま住んでいました。他の団体はニ

ーフアイを頭に仰いで「多くの日

数を旅に費し」て荒野へ入りレ

ーマンの団体から別れた。

それから五百年にわたるモルモ

ン経の記録は、ほとんどすべてニ

ーフアイの団体に關するものであ

ります。このレッスンの読書教材

の中には(㊷) 新しい土地に入植した

記事(㊸) レーマン人に下った「のろ

い」(㊹) ヤコブの説教、この中でヤ

コブはイエザヤ書から二章を引用し

てその註釈を行っている(㊺) ニーフ

ます。

読書のときに考えるべき要点

- (一) リーハイの移民団の中のどちらの人々が、レーマンとレミューエルと一しょに留まりましたか。
- (二) ニーフアイとその一行は、どんな神聖な記録と神聖な物とを携えて行きましたか。
- (三) ニーフアイとニーフアイの民は旧約聖書にのっているどの神殿の様式にならって彼らの神殿を建てましたか。
- (四) ニーフアイの小版はいつから記録が始まったと思われますか。
- (五) エルサレムに住んでいた民(ユダ王国の民)はいままで「散乱」と「集会」をしていますか。
- (六) ヤコブは第六章でどんな二つの「散乱」と「集会」について言っていますか。
- (七) ヤコブの教えによると、
 - (イ) アダム「墮落」とイエス・キリストの贖罪との間にどんな関係がありますか。
 - (ロ) なぜ贖罪がなくてはならないのですか。またその贖罪はなぜ無限の「贖罪」でなくてはならないのですか。
- (八) 復活とはどのようなことですか。また復活する者は誰ですか。

(三) 「霊の死」とは何のことですか。

(四) 贖い主の御名が「キリスト」であることを誰がヤコブに告げましたか。

(註) このレッスンのにっている出来事は、多分十年から二十五年の間に起ったと思われるます。

「教師のために提示した要点」

第八課

月 日

教材

ニーフアイ第二書、五十一一章(百十一―百三十七頁)

「読書のときに考えるべき要点の考察」

- (一) リーハイの移民団のうち次の人々がレーマンと一しょにのこったと思えます。レーマンとその家族、レミューエルとその家族、イシメルの息子二人とその家族(アルマ書十七〇十九参照)
- (二) ニーフアイが携えて行った物は
 - (イ) レーバンの真鍮版 (ロ) 指向球(リアホナ) (リ) レーバンの剣
- (三) ニーフアイはソロモンの神殿の様式にならってその神殿を建てました(ニーフアイ第二書五〇十六) 残念ながら、ニーフア

イの建てた神殿にはソロモンの神殿はど「多く貴重な品」を使

つていませんでした。

(四) ニーフアイの小版の記録がつけ

始められたのは、リーハイがエルサレムを出た三十年後、すなわち紀元前五百七十年ころからと思えます。もちろん、この記録にしている最初の出来事は紀元前六百年ころに起っています。

(註) 自分の日記を千九百六十年からつけ始めても、その中についている最初の出来事が千九百三十年にあった事であると同じことです。

(五) ユダ王国の民が最初に「散乱」

したのは「バビロンのとらわれ」である紀元前五百八十九年ころです。しかしユダ王国の民は紀元五百三十年ころに彼らの母国へ再び「集会」しました。彼らの子孫はそれからずっとエルサレムとその周りの地に紀元六十八―七十一一年ころまで住んでいましたが、そのころローマ人によつて再び「散乱」しました。現在、ユダヤ人が千九百四十八年に樹立されたイスラエル国へ戻っているのは、第二回の「集会」が起っているとも言えるで

しょう。

(六) アダムが「墮落」したのでイエス・キリストの贖罪が必要となりました。

(ロ) 正義の律法は、律法を破ったことに対して支払い(苦痛もしくは贖い)を要求します。

従つて、アダム「墮落」の時に破られた律法と、その後破られた律法とは、イエス・キリストの贖罪による支払いを要求します。もしもその贖罪が「無限」でなかったら

(イ) それは正義の律法の要求を完全に満たさず(ロ)すべての人が贖われることはできないでしょう。たとえば、もしもこの世に生を受けた人間が一人でも復活をしないなら、イエス・キリストは完全に死を負かしたわけでないでしょう。

(ロ) 復活とは、体と霊とが再び結合して三元の自然の体となり二度と離れないことです。これまで地球上に生を受けた人今生きている人、これから生れてくる人は一人のこらず復活をします。パウロが言ったように「アダムにあってすべての人が死んでいるのと同じように、(一二四頁に続く)

アロン神権者用 学科課程

第五課 「ウエントワース書簡」

議事の順序

(一)開会の祈り(二)出席の点呼と遂行した任務の報告(三)出席全員に來週に為すべき仕事を割り当てる(四)欠席会員が規則的に出席する方法を考える(五)社交的活動と会員同志の爲の活動をするための諸計画(六)定員会のレッスン(七)閉会の祈り

「ウエントワース書簡」

誰が「ウエントワース書簡」を書きましたか。

「ウエントワース書簡」には何が書いてあるので、私たちの教会でそれがいつまでも名声を保っているのですか。

アロン神権者がその歴史とその内容について何かを知らなければならぬのは何故ですか。

予言者ジョセフ・スミスが教会に与えた、歴史的にも教義的にも重要な文書の一つは「ウエントワース書簡」であります。千八百四十二年三月一日の予言者の歴史記

録に、予言者はこの「書簡」を書くようになった次第を書きとめています。

「シカゴ・デモクラット紙」の主筆であり経営者であるジョン・ウエントワース氏の求めに応じ、神のみもとに於いて末日聖徒の創立者であることを得ている私は、末日聖徒の起りと発展と迫害と信仰との概略を書き送った。

ウエントワース氏は、今ニューハンプシャーの歴史を書いておられる彼の友人バストウ氏にこの文書を与えると言っている。バストウ氏は正確な知識を得るために正しい手段をとられたから、私が氏に望むは、氏が私の記事を完全に飾り気なく、また事実を誤まることなく公けにされることだけである」と。

(註)「教会記録歴史」第四卷五三五一五三六頁。

この「ウエントワース書簡」は予言者の誕生日、千八百〇五年十二月二十三日から始まって居ります。そして、順を追って見事な筆で福音と神権の回復、モルモン經の出土、教会の組織、および教会

が悲しい迫害を受けながらも成長しノーヴーに植民地を築くまでを誌して居ります。また、この書簡が書かれた時(千八百四十二年)に、教会とその会員が繁栄して居り、幸福な将来の見込みをもって見た状態も誌して居ります。

教会の歴史係補助であった故ビ・H・ロバーツ長老は、この偉大な書簡についてかつて所見を述べて、

「ウエントワース書簡は、予言者ジョセフ・スミスが、末日の事業が始まったいろいろな出来事を一貫して話そうとした、最も早いころに公表された文書である。

この書簡は簡潔な言葉を使っていろいろな出来事を述べてあるがために、歴史上の文書の中でも肩を並べるものが僅かであり、まことにわが教会の文献中これに匹敵するものは一つもない。

「僅か数ページ(六頁以下)の中に、ウエントワース書簡は、予言者の生涯に於ける主な出来事と教会歴史の中に起った主な出来事とを非常に明瞭に述べ、またこれと共に教会の教義の総括も述べているが、この総括は以来「信仰簡条」と言われている。

「この『信仰簡条』は以来何百

万部という数が発行されている。そして、多くの国語に翻訳されて「福音の新しい神権時代」が宣傳えられていた万国の民と民族にもたらされている。これは数々の辛苦と諸学者の議論が一致した結果でできたものではなくて、

教会の歴史と教会の根本的教義とを最も熱心にたずねている人のために、教会員が最も確信しているところを宣言するため、一人の人がたたび一度の努力で即座に書いたものである。

「この信仰簡条が卒直、明瞭、簡潔および含蓄の多いことなど、多くの美点をみなその中に含んでいることは、予言者ジョセフ・スミスの心に神が靈感を与えたもうた強力な証拠であると考えられる」と言っておられます。

(註)「教会大歴史」第二卷百三十一頁参照。

このレッスンは、後から「信仰簡条」を一つ一つ考えて行く一つずきのレッスンのはしがきとなるものであります。

第六課 「執事の職を良く用いること」

議事の順序

(一)開会の祈り(二)出席の点呼と遂

行した任務の報告(出席全員に來週に為すべき仕事を割り当てる。司会席が規則的に出席する方を考える(司会社交的の活動と會員同志の爲の活動をするための諸計画)定員会のレッスン(閉会の祈り

「執事の職を良く用いること」
執事の責任の中のいくつかを挙げて言いなさい。執事の責任をみな挙げて言うことができますか。ではやってごらんない。

物質的のことに關する責任をいくつか挙げなさい。

靈的のことに關する責任のいくつかを言いなさい。執事の責任は少なすぎると思いませんか。多すぎると思いませんか。理由をつけて答えなさい。

私たちの教会がまだ若かったころの學者ジョセフ・B・キラーは「誰も執事の職に屬する責任を全部挙げて教えることはできない。教会が進歩発展して主の御業がますます広がるに従って、新しい状態がたえず現われてくる。執事は自分に課せられるどんな新しい義務でも喜んで行うよう、自分を管理する立場にある幹部の勸告

と導びきにいつも喜んで服従しなくてはならない。

「昔のレビ人からザカリヤに至るまでも行われたように、執事は『主の家』に於いて、また公けの礼拝の場所に於いて奉仕をすることを許される。もし要求されるなら、執事は集會の場所を常に念入りに清掃する上に、照明暖房などにも氣をつけ、主なる神を礼拝するために集る聖徒たちに敬意をあらわすことができる。」

「また要求されると、執事は集會の場所を建てその中に設備を施すための募金をする」ことができる。また集會の場所のまわりに日かげとなる樹木を植え、灌木を植えたりつたをはわせたり、芝生を仕立てたりして、礼拝の家のまわりを人々の目につくようにし心の休まるようにすることができよう。

・「實際執事は人々にめぐみを与え幸福にすることができようから、自分のものもっている執事という職に譽れを与えることができる。この執事の職は、もし力を尽して完全に責任を果すなら、その所有者に貴い経歴を与え、一人前の男にまで大きくするにちがいない。年若い男の人たちは、この職を忠実につとめよ、そうすれば人々から敬

やまわれ神から祝福を受けるにちがいない」とかつて誌しました。

(註) ジョセフ・B・キラー
著「小神権と教会制度」四十一—四十四頁参照。

この点について、予言者ジョセフ・スミスは千八百四十二年四月九日、ノーヴーの集會で演説をした間に「男の人々の中には教会に於ける下級の役員を不名誉であると考へ、ほかの人々の地位を嫉妬の目でながめる傾向がある。人が神に任命された地位よりもほかの地位を熱心に望むのは、人の心のもっている一つの「のろい」である。各人は、各々に与えられた召しを完全に果して、神が『もつと高きへ來れ』と仰せになるまで忍耐強く待つ方がよい』とはっきり申しました。

(註) ジョセフ・B・キラー
著「小神権と教会制度」四十二頁参照。

もつと近ごろのテキストの中に「神権」という問題について次のような指示が与えてあります。

「執事はもともと、教師とメルケゼデク神権をもっている人々を助けるのがその責任である。そして、このように助けをしている間に、神権の中の高い職に屬する責

任と権能とを知る機会がある。執事は福音の儀式を執り行うとくべつな権能もなく、また直接責任を負う権能もない、これらは後にそうなるのである。従って、執事は教師以上の神権者を助けるように認められたいろいろの責任を果すに當り、命令をよく守って、心から喜んで奉仕しなくてはならない。

「執事の定員會は十二人から成り、その三人が會長會をつくる。」

(註) 「神権と教会制度」百七十三頁参照。

今から約十年前に、教会の管理監督會はアロン神権の中にある三つの職が行うことのできる任務を公けに表示しました。

(註) インブルヴメントエラ誌、千九百三十七年三月号百七十三頁参照。

執事が行うべき任務には次のようなものがあります。ワードティーン(グループ)を助ける。

聖餐の分配。

聖餐式の時話をする。

聖餐式の時聖句を読む。

家庭集會のときに助けをする。

ワード部長(支部長)の用足しをする。

教会で案内役もしくは入口の番をする。

ワード部（支部）基金を集める助けをする。

集会場の準備をする。

集会場の世話をする。

執事定員会の会員を訪問する。

執事定員会の知れさせをする。

教会員に集り人のために薪を切る。

新しい会員（按手聖任されていない）をつれてくる。

不活動会員を活動にする。

ワード部（支部）へ新しく移転してきた人をつれてくる。

レッスンの準備をする。

「執事以外の神権の職をもっている人々はもちろんのこと、執事は自分を管理する立場にある人々の指示を受けてのみ、執事の職に属する義務を行うことができる。人は、自分に授けられた神権とその職をもっているにもかかわらず、管理の権能をもっている人から召されて任命を受けたときにはみ働かざることをすることができる。そうでなければ混乱が起るであろう」

（註）ジョセフ・B・キラー

著「小神権と教会制度」四十三頁参照。

執事は時に「教会常任の教職者」と言われます。執事はワード部（支部）以外の地へ出て行って福音を宣べ伝えることになっていないからであります。執事は自分の支部の中で働らくはずであります。

主なる神さまは

「見よ、大祭司は旅に出すべきなり。また長老も小神権の祭司も皆旅に出すべきなり。されど執事と教師とは、皆教会を護るために任命を受けて教会常任の教職者となるべし」とお教えになりました。

（註）「教義と聖約」八十四〇

百十一参照。

執事は、自分たちの神聖でありまた重要である働かざるが必ずしも物質的な性格にかざられてはいないことを忘れてはなりません。新約聖書にあらわれているピリピのように、執事たちもまた人々を救うために働かざるがことができます。主なる神さまは、執事のもっている霊に関する義務について、教師は「教師のすべての義務につきて常に執事の助けを受くべきものとす。されど教師と執事とは、何れもバプテスマを行い、聖餐式を執り行い、または按手を施す権能な

し。されど彼らは警告を与え、釈き、勧め、且つ教えて、キリストに来ようすべての人々を勧誘すべきなり」とはっきり教えておいてになります。

（註）「教義と聖約」二十〇五

十七一五十九。

このように、執事が奉仕をする機会と責任とは大へんはばの広いものでありますから、もし執事が自分の召しと任務とを満足に果そうと思ふなら、勉強と祈りと実行と献身とが必要であることがわかります。

第七課「教師の義務」

議事の順序

(一)開会の祈り(二)出席の点呼と遂行した任務の報告(三)出席全員に來週に為すべき仕事を割り当てる(四)欠席会員が規則的に出席する方法を考ふる(五)社交的な活動と会員同志の爲の活動をするための諸計画(六)定員会のレッスン(七)閉会の祈り

「教師の義務」

なぜ執事は「教師」に按手聖任されることを待ち望むべきでありますか。

どのような性質をもつと良い「教師」になれると思いますか。

「教師」に按手聖任される準備として、今執事は何をせねばなりませんか。

「教師」に按手聖任するにあふわしいと解することは大へんな名譽であります。なぜですか。それは主として「教師」が「常任の教職者」と言われるからであります。

次に述べるのは、予言者ジョセフ・スミスに、主なる神さまが啓示によつて明らかになさつた「教師」の任務であります。

「教師の義務は常に教会員を守護し、彼らと共にありて彼らを強くすべきものとす。

「また教会員の中に邪曲なきよう、互いの間に頑固なることのないきよう、また虚言、偽口、悪口になどもなき様注意すべきものとす。

「また教会員のしばしばは集會することをはかり、またすべての会員にその義務をつくすようになさしむ。

「もし長老または祭司不在のときは、教師は集會を指導すべきなり。

「而してもし必要あらば、教会員中に於ける教師のすべての義務につきて常に執事の助けを受くべきものとす。

「されど教師と執事とは、何れ

もバプテスマを行い、聖餐式を執り行い、または按手を施す権能なし。

「されど彼らは警告を与え、積み、勧め且つ教えて、キリストに来るようすべての人々を勧誘すべきなり。

「長老、祭司、教師または執事はことごとく各々に賜わる神の賜物と召しとによりてその職に按手聖任せらるべく、これを聖任するものの中にある聖霊の能力によりて按手聖任さるるものとす」。

(註)「教義と聖約」二十〇五

十三—六十。

容易にわかるように、「教師」の任を受けることは、教会と主なる神さまに仕えるのはもちろん、隣人支部などに奉仕をすることのできるすばらしい機会であり、年若い男の人たちは「教師」定員会の会員である二三年の間に前に挙げた多くの任務を一つ々わしく勉強しなくてはなりません。

しかし、アロン神権者の一人一人が「教師」のもつ機会についてもう少し知っておくように、「教師」の為すべきことにつき、次にいくつかの知識をつけ加えて述べることにします。

(一)「教師」の義務は「常に」教会

員を守り、教会員を強くすることであり、これで「教師」は「常任教職者」であるというわけであつて、自分が受け持っている会員をたえずいつも見守り、また助けを与えることを要求されています。それであり、それから、「教師」たる者は教会員とごく親しく交わらなくてはなりません。

(二)「教師」は教会員の中に「邪曲」のないよう注意しなくてはなりません。「教師」は常に活潑な会員であつて、不活潑な会員であつてはなりません。そしていつもよく気をつけていなくてはなりません。「教師」は教会の「警官」であると言つてのが適當であるかも知れません。

(三)教会の会員が仲違いをして悪い感情を抱いている時には、できるなら両者に仲直りをさせるのが「教師」の義務であります。また「教師」は、偽言を言う人に注意して、その悪事を止めるように言うべきであります。

また「教師」は教会員の中に蔭口や悪口のないように注意すべきであります。蔭口や悪口には、兄弟姉妹の愛の流れに毒を注ぎ、兄弟姉妹の信頼を傷つ

け、無邪気な性格を悪くし、このようなおせっかいをやる人々の霊をくさらせる罪惡であります。「教師」はこのようないことがないように気をつける義務があります。

實際、「教師」は自分の受けもちの中の会員に悪くないようにたえず守つてゐることを要求される職であります。「教師」は律法を破る人々を警告し叱責します。「教師」は怠慢な人々に熱心に説き、熱心に頼みます。また主なる神さまを畏れかしこんで、会員に勧告を与え説得をします。そして、自分の受けもちの会員の霊の状態を一層よく知つてゐるよう、会員の家庭を訪問するように要求されます。

(四)さらに「教師」は教会員がしばしば集つて聖餐をいただき、教えを受けるように気をつけ、また教会員と会合してその模範となるよう気をつけ、また教会員と会合してその模範となるよう気をつけなければなりません。

また「教師」は教会員がみなその義務を守るように、すなわち教会員がみな「自分の一」を納め、断食献金を納め、「知恵の

言葉」を守り、神権者の悪口を言わず、安息日を聖く守り、盗みをせず、中傷をせず、けんかをせず、争鬭をせず、人を欺かず、不道德な事や不貞な行いをしないよう気をつけなくてはなりません。

(五)「教師」は互いに争つてゐる兄弟もしくは姉妹の間に立つて仲直りをさせる人にならなくてはなりません。「教師」は何人をも裁判するのではなくて、親切と説得と祈りとを以て、教会員の間にある個人的争ひをしずめるように努力します。

必要な場合があれば、「教師」は監督法廷で正会員たる資格について裁判をされる背罪者(教会員)を告訴する告訴状に署名することができ、

(六)以上述べたことのほかに、「教師」の義務と召しは「教師」に警告し、積み、勧め、且つ教えてキリストに来るようすべての人々を勧誘すべきことを命じます。

「これを見ると「教師」の働きは何と広い範圍にわたつてゐるではありませんか。「教師」はすべてその働かざるに當つて「教師」の召しの「スピリット」、す

なわち自分の心を照らして働らき
を有効にする「神のみたま」をい
ただかなくてはなりません。

(註) ジョセフ・B・キラー

著「小神権と教会制度」四
十六—四十八頁参照。

以上は、すばらしいまた大切な
任務でありますから、執事の一人
一人はすべて「教師」に按手聖任
されるのにふさわしいと解する時
くるように、できるだけ義しい生
活を送るために「みたま」の導き
を受けるべきであります。以上述
べたほかにもっと義務と機会とが
あることはもちろんであります
が、これらは年若い男の人たちが
「教師」になってから教えられま
す。

また「教師」の職能には或る限
界があります。

主なる神さまは、「教師」定員
会の会員数を、執事定員会の十二
名の二倍である二十四名にお定め
になりました。

「教師」の働らきがどんなに大
切であるかは、大祭司七十人長老
祭司などの職にある会員はのこら
ず「教師」の資格で働らくように
召されている事からはっきりわか
ります。ワードティーチング(プ
ランチティーチング)をする権能

は、もちろん大神権のいろいろな
職を奉じている者が初めからもつ
ている権能であります。

第八課「祭司」

議事の順序

(1) 開会の祈り (2) 出席の点呼と遂行
した任務の報告 (3) 出席全会員に來
週に為すべき仕事を割り当てる
紳士席会員が規則的に出席する方
法を考える (4) 社交的の活動と会員
同志の為の活動をするための諸計
画 (5) 定員会のレッスン (6) 閉会の祈
り

「祭司」

年若い男の人が「祭司」に按手
聖任されるときには普通何才く
らいになっていきますか。

「祭司」は、執事や「教師」に
できないどんな任務を行います
か。

普通執事や「教師」が行う任
務を、いつ「祭司」が行います
か。

祭司はアロン神権の中の一、番高
い職であります。

ジョセフ・B・キラーが、か
つてアロン神権者の教科課程を公
けにしたときに、次のように書き
ました。
「祭司の職は「教師」と執事の

職の中に含まれているすべての事
を含んでいるから非常に包括的の
職である。すなわち、祭司はもし
必要なら自分の召しに属する大切
な義務に加えて、「教師」や執事
に属するすべての義務も行うこと
ができる。この職は最も大切な職
である。

「教会の会員が一人のこらず為
さなければならぬこと、すなわ
ち神の御前に義しくあつて聖靈に
満たされることのほかに、祭司は
その召しの性格が完全な備えを必
要とするので、神の事についてよ
く知り熟練していなければならぬ
い。祭司の職には大切な任務がい
くつもあるが、中でも祭司は「説
き教え、勧め」なくてはならぬ
い。祭司がキリストの教義に通じ
ていなかっただけがどうして正
しくできようか。

「主なる神は、「みたま」が導
きたともうまに、また管理する幹
部役員が指示するまに、完全に
尽すべき祭司の職の権能を述べた
もした。

「祭司の義務は説き、教え、積
き、勧め、バプテスマを施し、聖
餐式を執り行うべきことなり。
「また各会員の家庭を訪れ、彼
らが声を挙げてひそかにても祈

りをなし、またすべて家庭の務め
にいそしむように勧め、
「また他の祭司、教師、執事を
按手聖任することを得、
「また一人も長老居らざる時は
集会を指導すべきものなりとす。
「されど長老の場に在る時は
ただ説き、教え、勧め、バ
プテスマを行うべきのみ、
「また各家庭を訪れて、かれら
が声を挙げてひそかにても祈り
を為し、すべて家庭の務めにいそ
しむよう勧めをなすなり。
「すべてこれらの義務に於て、
祭司はもし必要あらば長老を助く
べきものとす」。

(註) 「教義と聖約」二十〇四

十六—五十二参照。

祭司が以上の特別な指令を暗誦
して、これらの要求を注意深く考
えるのは善いことでありましょ
う。

キラー長老は、これらの指令
の一つ一つについて次のように誌
しています。

「祭司は自分の支部に於てまた
支部以外の所に於て教えを説くよ
うに召されることもあるが、とく
に自分の支部に於て教えを説くよ
うに召される方が多い(「教義と聖
約」八十四—百七、百十一参照)。

従つて、祭司は誤つてゐる者を悔い改めさせる目的で主なる神の言葉を熱心に説き聞かせるため、自分の義務が果せるように備えをしなくてはならない（「教義と聖約」三十八〇四十一—四十二）。

「祭司の召しに任務の一つは教えることであるから、もし必要なら日曜学校の先生として働らき、またその他の組織に於ても活潑に働らなくてはならない。祭司は聖典を積くように召され且つ認可を与えられている。立派にこの仕事をすることができるとともに、彼は文字となつてゐる神の言葉、すなわち旧新約聖書、モルモン經、「教義と聖約」、高価なる真珠などに通じていなければならない。彼はまた教会の大幹部のこともよく知つていなくてはならない。彼はわが教会の標準聖典を身近に具えて絶えず勉強してゐなくてはならない。自分の知らない事をどうして説き教えることができるか。主なる神は次のような指令を与へたもつた。

「また当教会の長老、祭司および教師たちは、聖書と完全なる福音を載せたるモルモン經とに誌されたるわが福音の原則を教へべし。

「また彼らは誓約と教会の信条とを守りてこれを実行すべし。而して彼らは『みたま』に導かるるまま以上のことを以て教へとなすべし。

「この『みたま』は、信仰の祈りによりて汝らに与えらる。而して汝らもし『みたま』を受けざる時は教へべからず。

（註）「教義と聖約」四十二〇 十二—十四参照。

「また祭司は兄弟姉妹にも熱心に説かなくてはならない。すなわち祭司は彼らに証詞をし、常に勤勉忠実であるよう公けにも個人的にも熱心に頼まなくてはならない。祭司の職をもつてゐる者は、會員の家を訪問して「声を出してもひそかにても祈るよう勧め」なくてはならない。

「祭司の職にはこのような資格が要るので、祭司自身祈りの人となることを要求される。祭司は模範によつても戒しめによつても人に教へるはずであるからである。祭司は會員と一しよに家庭の中で祈り、要求される時には公けに會員の前で祈る。

（註）「教義と聖約」二十三〇 六—七参照。
「更に、祭司は両親や小供たち

が家事の務めにいそしむように勧め、また両親がその小供たちと規則的に祈りを捧げ、小供たちに勧告をし、夜も昼も、仕事の時も遊びの時も、たえず守るよう勧めをするはずである。祭司は、両親がその子供たちが日曜学校、昼間の学校、定員会その他の組織の集りに出席するように氣をつけるよう勧めるべきである。祭司は、両親はその子供たちが八才になるまでに福音の第一原則を教えこむよう勧めるべきである。

「祭司は、小供たちが両親の言いつけに従うよう、また善良な、正直な、正しい子供であつて、愈けず、盗みをせず、けんかをせず、見知らぬ人や言語を旨く話せない外国生れの人たちに無礼をせぬよう勧めるべきである。

「祭司は他の祭司、教師、執事等を按手聖任する権能がある。すなわち、祭司はアロン神権を授けることができる、他の者を自分と同じアロン神権の中の祭司の職や「教師」、執事の職に按手聖任することができるが、自分よりも高い職に按手聖任することはできない。

（註）「教義と聖約」二十〇四 十七参照。

「祭司は罪を赦すためのバプテスマを施す権能をもっている。

（註）「教義と聖約」十三、二一—三十七、七十二—七十四参照。

「バプテスマの儀式を執り行うときの言葉は次の通りであつて暗誦すべきである。すなわち

「われはイエス・キリストより権能を受けたれば、天父と御子と聖霊との御名に由りて汝にバプテスマを施す、アーメン」

「祭司の務めの中にはまた聖餐を分ち与るる権能がある。聖餐の儀式は、まずパンを手で裂き、これを祝福した後、執事や「教師」が居たら、教会の資格ある會員たちがパンをいただくように、彼らに配つてもらう。次に、水を祝福し、前と同様に資格ある會員のところへ配つてもらう。

「祭司はパンの祝福と水の祝福とを暗誦すべきである。この祝福の言葉は一字一句も覚えてはいけない。

祝福の言葉はそれぞれ次の通りである。

「永遠の父なる神よ、われら御子イエス・キリストの御名によりて願ひ奉る。ここにこのパンをいただくすべての人々が御子のから

だの記念にこれをいただくよう、

また喜びて御子の御名を受け、御子を常に忘れず、またその下したまえる誠命を守ることを永遠の父なる神の御名に証明し、かくして御子の『またま』常に一同と共にましますよう、このパンを祝いきよめたまえ。アーメン」

「永遠の父なる神よ、われら御子イエス・キリストの御名によりて願ひ奉る。ここにこの水をいただくすべての人々がかれらの為に流したまいし御子の血の記念にこれをいただくよう、また御子を常に忘れぬことを永遠の父なる神の御前に証明し、かくして御子の『またま』一同と共にましますよう、この水を祝いきよめたまえ。アーメン」

(註)「教義と聖約」二二〇七十七、二二〇七十九参照。

「祭司はまた長老を助けるべきである。『また一人も長老居らざる時は、集会を指導すべきものなりとす』

(註)「教義と聖約」二二〇四十九、五十二参照。

「祭司はバプテスマを受けた者を教会員として確認する儀式を執り行うこと、すなわち按手をして聖霊を与えることの権能をもつて

いない。

(註) マタイ伝三〇十一参照。

「ジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに神権を授けた後、バプテスマのヨハネはその神権について次のように言った。予言者ジョセフ・スミスはそれを、

『彼(バプテスマのヨハネ)は言った。このアロン神権は聖霊を与えるために按手礼を行う権能はない。しかし、この権能は後に汝らに授けられるであろう、と』書いている。

(註)「教会記録歴史」第一巻三十九頁参照。

「四十八人の祭司が一つの定員会を成す。『教師』や執事の定員会と違つて、祭司定員会の会長はこの四十八人の中の一人でなくて、監督の職を奉じている祭司である。

(註)「教会記録歴史」第一巻三十九頁参照。

「四十八人の祭司を管理し、彼らと会議を開き、誓約の中にある彼らの義務を教えるのはまたアロン神権定員会長の義務である。この会長は監督であるはずである。監督であることはこの神権の義務の一つであるからである。伝道部の中にある各支部には支

部長があつても監督がありませんから、祭司定員会をつくることのできるほど大きな支部があると、

支部長がその定員会を管理します。しかし、その支部長はその定員会の会長ではありません。

(一一七頁よりの続き)

キリストにあつてすべての人が生かされるのである」(コリント前書十五・二十二参照)。

(二)「霊の死」とは「義に関することについて死ぬ」ことであります。すなわち「霊の死」とは、霊について神から遠ざけられることであります。アダムとイヴの第一の「霊の死」は、この二人がエデンの園から追放された「墮落」のときに起りました。このようにして、アダムとイヴの二人は神の前から追い払われました。善悪をわきまえる年齢、すなわち満八才になって罪を犯す人間はそれぞれ「第一の霊の死」を受けます。「第二の霊の死」を受ける者は「滅亡の子ら」だけであります。「第二の霊の死」を受けます者は、神の御前から限りなく永遠に追い払われるのであります。「(教義と聖約)七十六・三十一—三十七参照」。

誤正

— 125 —

[illegible]

クイズルーム ③

23 22 21 20 19 18 17 16 1 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7

- タテノカギ
- 1 謹賀新年。
- 2 開かなければ入れない。
- 3 鉛筆の黒い所。
- 4 ロシヤのソリ。
- 5 木を切る道具。
- 6 鶏の帽子。
- 7 引っくり返らぬ御用心。
- 8 竹と梅の兄貴。
- 9 救い主。
- 10 ○○○○はいつか来た道。
- 11 キリストの証し人。
- 12 太田道灌の借りられなかったもの。
- 13 巨人の一塁手。
- 14 山の向うに住んでいるもの。
- 15 ピッチャー投げました。
- 16 パウロ海教の地。
- ヨコノカギ
- 17 ことしは何の年
- 18 アブラハムの甥
- 19 駒鳥
- 20 とげのある花
- 21 先祖を探索して正しく作りましょう。
- 22 ベテラン
- 23 天下のまわりもの
- よき○○○○びと
- 汝らは○○○○なり

29 28 27 26 25 24

塩もし効力を失わば……

ハニコ
近くない町
七代目の族長
病人を○○○
おしまい。

クイズルーム(2)の解答

(1) みどり (イザヤ九章六節)

(2) バツレヘム (ミカ書五章二節)

(3) 日本語の「エリヤ」は「主の道を備える者としての「エライヤス」と「最後の神権の時代に鍵と権能を人間に回復する使命をもつ者」としての「エライヤス」の意味がある。(ほかの意味をもつ場合もあり) パパテスマのヨハネは前者の意味で「エリヤ」であり、後者の意味では「エリヤ」ではないわけである。(一九六一、六月号聖徒の道三〇九頁のモルモンの教義参照)

(4) 「ガブリエル」は大洪水で有名な「ノア」のごとくあって「神権の位に於てはアダムに次ぐべき人」であることが予言者ジョセフ・スミスに啓示されている。(教義と聖約の註訳英文百三十九頁参照)

又天使長「ミカエル」は勿論「アダム」の

ことです。(教義と聖約二十七章十一節参照)

語	何語	語の意味
イエス	ギリシヤ語	キリストの個人名で「救い主」なる意(マタイ一章二一節)
キリスト	ギリシヤ語	救いをもたらす者としての職責の名で「油をそそがれた者の意
メシヤ	ヘブル語	右に同じ

(5) 「キリストイエス」英文三十五頁(三十六頁参照)

(6) インマヌエル(マタイ一章二三)、主、ダビデの子(マタイ八章二九) 道、真理(ヨハネ十四章六) 門(救いに至る) ヨハネ十章九) 生命のパン(ヨハネ六章三五、三八) 復活(ヨハネ十一章二五) 生命(ヨハネ十一章二五) 在るなり(ヨハネ八章五八)

(7) モルモン経典、第三ニーフアイ十一章十四、十五章五)

(8) (1)創造主(イテル書四章七)として(3)福音を守り行う者たちの「父」として(3)神から権能を授かった者として(信仰御条の研究六二六頁参照)

(9) 黄金・乳香・没薬

(10) 場所

場	所	時	期	会った人々	聖句
1	州	マンチエ	一八二〇年早	ジョセフ・スミス	ジョセフ・スミスの著
2	州	オハイオ	一八三二年二月十六日	ジョセフ・スミス	ミッドランド七十六章
3	州	オハイオ	一八三六年四月三日	ジョセフ・スミス	教義と聖約百十章

公 告

宗教法人「末日聖徒イエス・キリスト教会」京都支部は、昭和三十六年十月一日より、京都市左京区松ヶ崎桜木町十四番地に開設されましたから、此段公告いたします。

宗教法人「末日聖徒イエス・キリスト教会」

代表役員 ポール・シー・アンドラス

編 集 後 記

厳冬期に入った今日、このごろ、なんとなく活動もにぶくなってきますが、私たちの「聖徒の道」は、逆に、寒さをふっとはすほどの活動性があると信じています。

昨年度の各支部に於ける「聖徒の道」購入費として伝道本部の会計に納入するはずの未払金額は、五十四万七千七百三十一円に達しています。このままでは、維持が非常に困難

になりますので、各支部の委員の努力と共に会員各位の御協力をお願いします。

先月号に多くのミスがあつて、大変御迷惑をかけましたがその正誤表をのせておきました。クイズルームも引き続き訂正をさせていただきますので、二月二十八日までに多数御応募下さいますようお願いいたします。

なお、伝道本部の都合によって、伝道本部だより十二月分は次号にまわします。

(小林)

第一回 正 解 (11月号)

1	モ	ル	モ	ン	6	キ	ヨ	ウ	カ	イ
2	ロ	サ	ン			リ	10	マ	ツ	エ
3	ナ	カ		12	マ	シ	9	ウ	11	バ
	イ		14	ア		13	タ	ル	17	ソ
		15	ヘ	ル	16	モ	ン	18	ウ	ナ
19	エ		20	マ	ナ		21	ハ	マ	ス
22	ス	ナ		23	リ	24	ベ	カ	25	オ
	テ		26	ナ	ザ	レ		27	ア	サ
28	ル	ス	イ		29	エ	ゼ	キ	エ	ル

7	2	3		4		5	6	1		
17							20			
18				19					21	
			9				10			
22	8					23			11	
24					14		25			
			26	13		15				16
		12								
27									28	

(13の下が29です)

(切り取り線)

図 書 案 内

教義と聖約	
高価なる真珠 モルモン経	上質革製合本.....1100円
教義と聖約	合本.....300円
高価なる真珠 モルモン経(新訳)	200円
信仰箇条の研究	330円
モルモンとは?(新版)	150円
完成への道	200円
初等協会教科書	150円
総合聖句の手引	150円
日本系図探究要覧	100円
古代アメリカの生活	100円
旧約聖書物語	150円
家督権の祝福	100円
扶助協会手引	50円
求道者教育法	120円

日曜学校用

宗教と生活Ⅱ	150円
よきおとずれ	100円
聖書物語	150円
福音の実践	150円
聖典中の指導者	150円
我等の標準聖典	200円
古代の使徒	150円
福音の紹介	200円
シオン山の救い手たち	200円
教義と聖約の教え	150円

M I A 用

役員と指導書の手引	100円
モルモン経研究ガイド	100円
MIA・エンサイン・ローレルの手引	150円
演劇指導者基礎知識と脚本集	75円
演説が上手になる法	150円
社交ダンス必携	160円
新しいフォークダンス	50円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌(新版)	400円
子等は歌う	100円
レクリエーション歌集	400円

.....注文は各支部長へ.....

支部所在地

阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八
旭川 旭川市八条五丁目
福岡 福岡市東葉院二ノ四〇
群馬 高崎市並榎町二七五
広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三
金沢 金沢市成瀬町一一ノ四 野田方
甲府 甲府市山田町六三
京都 京都市左京区松ヶ崎桜木町一四
松本 松本市沢村町一六〇四
室蘭 室蘭市幸町八九
名古屋 名古屋市中昭和区北山町三ノ四一
新潟 新潟市中大畑町五五七 金井方
電(二一八六六一)
西ノ宮 兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四
岡町 大阪府豊中市岡町北二ノ一八
岡山 岡山市七日市七八

小樽 小樽市富岡町一ノ三五
三ノ宮 神戸市灘区篠原本町四ノ三五
電(八二一六〇二)
札幌 札幌市北二条西二四丁目
仙台 仙台市光禅寺通り二八
電(五一〇八九七)
東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四
電(四〇八一三三〇七)
東京北 東京都豊島区千川町一ノ二三ノ七
集会所 日曜学校 武蔵野ドレメ
M I A 徳川生物研究所
東京南 東京都大田区南千束町二四九
電(七八二一六一三一)
東京西 東京都港区青山北町六ノ三四
電(四〇二一四〇一〇)
山形 山形市八日町八五〇
柳井 山形県柳井市今市三九一
横浜 横浜市港北区篠原町二九
電(四九一八七七二)
普天間 沖縄宜野湾村野嵩区三二八
那覇 沖縄那覇市松尾区一三九